

## 第2章

# 東京2020大会に 向けた準備



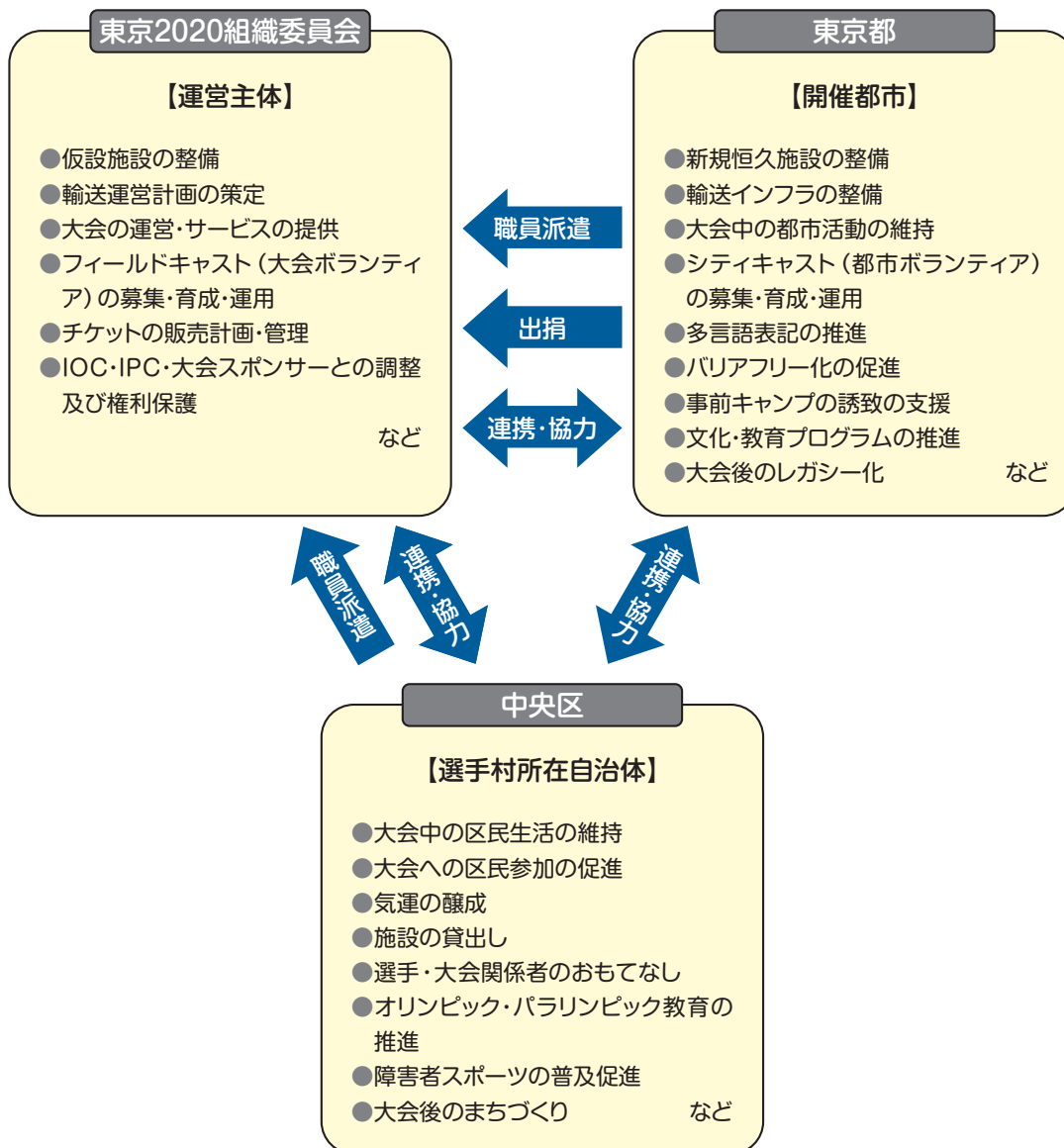
# 1 東京2020組織委員会・東京都との連携

東京2020組織委員会は、東京都とJOCの出捐により平成26(2014)年1月に設立され、大会の準備及び運営に関する事業を行ってきた。

東京都は、開催都市として東京2020組織委員会が行う大会の準備をバックアップするとともに、大会中の都市活動を正常に維持する役割を担い、さらに大会を契機に成熟した都市としての進化を目指して取組を進めた。

本区は、開催都市東京の一員として東京2020組織委員会及び東京都との協力体制を構築し、大会成功に向けて支援するとともに、区内における気運醸成や大会を契機とした地域の活性化、区民生活・事業活動の維持、大会後の将来を見据えたまちづくりなどに取り組んだ。

東京2020組織委員会、東京都、中央区の役割と連携



## 2 大会に向けた体制整備

### 1 区の推進体制

平成25(2013)年9月8日(日)(日本時間)、アルゼンチンのブエノスアイレスで開かれたIOC総会で、2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定した。

これを受け、本区では、全庁を挙げて大会成功に向けた支援と大会に向けた準備を行っていくため、開催決定と同日に中央区長を本部長とする2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会対策本部を設置した。

その後、同年10月1日(火)には、大会に関する施策について企画、調査及び総合調整の役割を担うオリンピック・パラリンピック調整担当課を企画部内に設置し、専任の職員を配置した。

#### ア 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会対策本部の設置

##### ① 設置目的

大会の円滑な実施及び大会の実施に伴う区への影響を踏まえたまちづくりに寄与することを目的とする。

##### ② 設置年月日

平成25(2013)年9月8日(日)

##### ③ 構成

本部長 区長

副本部長 副区長、教育長

本部長 各部長、防災危機管理室長、高齢者施策推進室長、中央区保健所長、会計管理者、教育委員会事務局次長、監査事務局長、区議会議会局長、参事

幹事 関係各課の課長

##### ④ 所掌事項

- 大会の実施の支援に関すること
- 大会の実施に伴う区への影響を踏まえたまちづくりの推進に関すること
- その他、本部長が必要と認める事項

##### ⑤ 開催実績

全78回(令和4(2022)年3月下旬の開催予定回を含む。)

#### イ 企画部オリンピック・パラリンピック調整担当課の設置

##### ① 係と分掌事務等

- 事業調整係 平成25(2013)年10月1日(火)設置  
東京2020大会に関する企画、調査及び総合調整
- 大会対応係 平成31(2019)年4月1日(月)設置  
東京2020大会時に係る関連事業の実施

## ② 体制

年月日	体制			職員数
	部	課	係	
平成25(2013)年 10月1日	企画部 (部長1)	オリンピック・パラリンピック 調整担当課(課長1)	事業調整係 (係長1、係員2)	5人
平成26(2014)年 4月1日	企画部 (部長1)	オリンピック・パラリンピック 調整担当課(課長1)	事業調整係 (係長1、係員3)	6人
平成28(2016)年 4月1日	企画部 (部長1)	オリンピック・パラリンピック 調整担当課(課長1)	事業調整係 (係長1、係員4)	7人
平成31(2019)年 4月1日～ 令和4(2022)年 3月31日	企画部 (部長1、参事1)	オリンピック・パラリンピック 調整担当課(事務取扱 参事)	事業調整係 (係長1、係員4) 大会対応係 (係長1、係員1)	9人

## 2 中央区議会東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会の設置

区議会においては、東京2020大会に関することを審査・調査するため、平成25(2013)年9月27日(金)に東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会が設置された。

令和3(2021)年5月31日(月)には、審査・調査対象に晴海地区の公共施設整備に関することを加え、東京2020大会・晴海地区公共施設整備対策特別委員会に名称変更された。

## 3 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の設立

### ア 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会

平成27(2015)年3月に取りまとめた「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施に伴う影響等調査」では、区民や区内団体、民間事業者などは大会に関する十分な情報収集が難しく、各主体が単独で大会に向けた取組を推進することが困難であるとの結果が示された。このため、平成27(2015)年12月17日(木)、区内関係者間の情報共有及び連絡調整の強化を図るとともに、地域の自主的な取組の促進などを行うため、区内の各分野で活動する関係団体、官公署等の代表者を構成員として、中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の設立に至った。

また、区民協議会の下部組織として、地域の実情や課題を把握し、大会に向けた具体的な取組を検討していくため、区民協議会から推薦のあった関係団体の実務担当者がメンバーとなり、平成28(2016)年3月28日(月)に観光・文化検討部会、平成29(2017)年1月26日(木)にボランティア検討部会を設置した。

## 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の位置付け

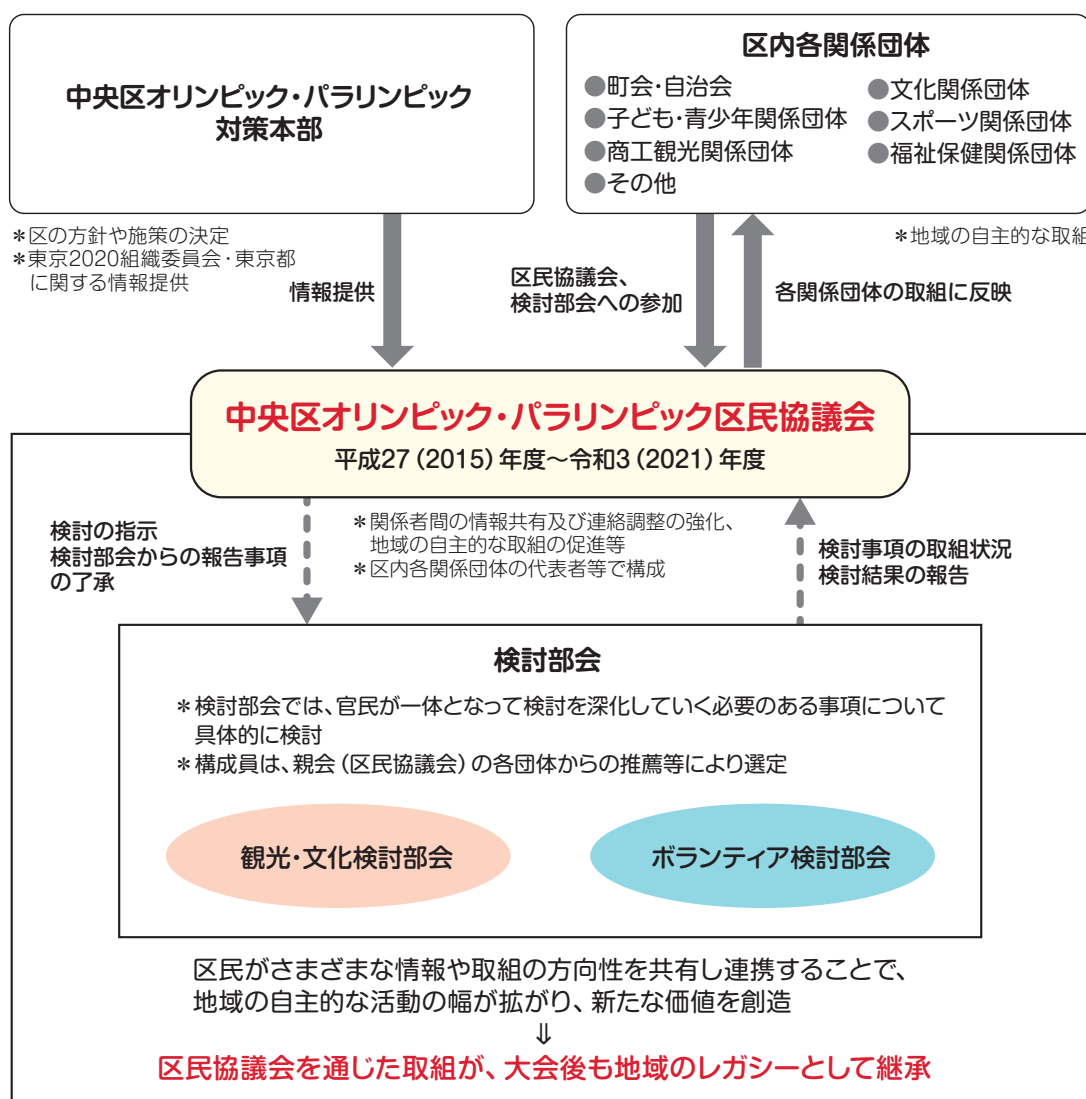
### 【協議会の目的】

東京2020大会は、区の魅力発信と地域活性化の絶好の機会であり、区民、関係団体、区が一体となって区の発展に取り組む必要がある。このため、関係者間の情報共有及び連絡調整の強化を図るとともに地域の自主的な取組の促進等を行う会議体として、中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会を設立した。

### 【所掌事項】

- 大会に関連する関係者間の情報共有及び連絡調整に関すること。
- 大会開催の機会を捉えた地域の自主的な取組の促進に関すること。
- 大会の気運醸成に関すること。
- その他大会開催の機会を捉えた地域のさまざまな活動に関すること。

### 【協議会の位置付け】



## ① 構成員(敬称略)

令和3(2021)年9月21日時点

区分	団体名・役職	氏名
町会・自治会	京橋地域町会連合会会長	鈴木 博道
	日本橋地域町会連合会会長	岩田 博
	月島地域町会連合会会長	輿石 智宏
文化	中央区文化・国際交流振興協会理事長	三田 芳裕
	中央区文化振興プロデュースチーム座長	陣内 秀信
	中央区古典芸能の会会員	橘 芳慧
	中央区能に親しむ会実行委員長	吉田 誠男
	松竹株式会社取締役会長	大谷 信義
	株式会社明治座代表取締役社長	三田 芳裕
子ども・青少年	中央区青少年委員会会長	福山 照一
	中央区PTA連合会会長	河野 祥多
スポーツ	中央区体育協会会長	細田 眞
	中央区体育協会理事長	木本 慎一
	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島理事	鈴木 明美
商工観光	中央区観光協会会長	古屋 勝彦
	中央区商店街連合会会長	柴川 賢
	中央区工業団体連合会会長	森山 照明
	東京商工会議所中央支部会長	大谷 信義
	全銀座会G 2020事務局	永井 真未
	晴海トリトンスクエア統一管理者 株式会社晴海コーポレーション総務部長	秋友 一美
福祉保健	中央区社会福祉協議会会長	中野 耕佑
	中央区身体障害者福祉団体連合会会長	相澤 俊一
	中央区心身障害者・児福祉団体連合会会長	吉田 協子
	中央区視覚障害者福祉協会会長	佐藤 雅子
	中央区医師会会長	遠藤 文夫
	日本橋医師会会長	津布久 裕
	中央区食品衛生協会会長	二永 展嘉
環境	中央区環境保全ネットワーク代表	岸本 裕子
その他	中央区女性ネットワーク会長	河本 佳子
	国際セラピードッグ協会代表	大木 トオル
官公署	月島警察署署長	宮崎 純一
	臨港消防署署長	岩崎 隆浩
区議会	中央区議会議長	木村 克一
	中央区議会東京2020大会・晴海地区公共施設整備対策特別委員会委員長	田中 広一
区	中央区長	山本 泰人
	中央区副区長	齊藤 進
	中央区副区長	吉田 不曇
	中央区教育委員会教育長	平林 治樹

計36人(重複する構成員を調整後)

② 役員（敬称略。団体名・役職は就任時）

●座長

平成27(2015)年12月17日(木)～

中央区体育協会会長 山本 泰人

令和元(2019)年7月1日(月)～

中央区文化振興プロデュースチーム座長 陣内 秀信

●副座長

平成27(2015)年12月17日(木)～

中央区文化振興プロデュースチーム座長 陣内 秀信

令和元(2019)年7月1日(月)～

中央区体育協会会長 百瀬 修至

令和3(2021)年3月29日(月)～

中央区体育協会会長 細田 眞

③ 開催日

第1回 平成27(2015)年12月17日(木)

第2回 平成28(2016)年8月3日(水)

第3回 平成29(2017)年3月16日(木)

第4回 平成29(2017)年7月26日(水)

第5回 平成30(2018)年2月27日(火)

第6回 平成30(2018)年7月31日(火)

※パラスポーツ体験会を実施

資料送付 平成31(2019)年3月1日(金)

第7回 令和元(2019)年7月1日(月)

第8回 令和2(2020)年2月27日(木)

第9回 令和3(2021)年3月29日(月)

※書面開催

第10回 令和3(2021)年6月3日(木)

※書面開催

資料送付 令和3(2021)年7月15日(木)

資料送付 令和3(2021)年9月21日(火)

第11回 令和4(2022)年3月24日(木)

④ 主な検討内容、成果等

●中央区多言語表記指針の策定

●折り鶴ウェーブの実施

●おもてなしTシャツ作製方針、デザイン案の決定

●大会における中央区のおもてなしの方向性の決定

●中央区おもてなしセンターの設置及び名称の決定

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため設置  
は中止(77ページを参照)

●おもてなしロゴの決定



▲区民協議会



▲平成30年7月パラスポーツ体験会(ボッチャ体験)



▲平成30年7月パラスポーツ体験会(ブラインドサッカー体験)



▲おもてなしロゴ

## イ 観光・文化検討部会

平成28(2016)年3月、大会に向けた観光振興や文化発信に資する地域の取組を検討するため、観光・文化検討部会を設置した。

当検討部会では、大会に向けた外国人旅行者等の受入環境を整備するため、案内サインなどの多言語表記に係る考え方を整理し、「中央区多言語表記指針」(案)を取りまとめ、平成29(2017)年3月に区民協議会にて同指針が策定された。

また、地域の一体感と大会の気運を高める共通アイテムであるおもてなしTシャツのデザイン及び中央区おもてなしセンターの名称について、ボランティア検討部会と合同開催した検討部会において最終案を取りまとめた。

### ① 部会員(敬称略) 令和3(2021)年12月8日時点

団体名・役職	氏名
中央区観光協会理事	工藤 哲夫
東京商工会議所中央支部	岡本 圭祐
NPO法人築地食のまちづくり協議会事務局長	鹿川 賢吾
中央区文化振興プロデュースチーム	竹沢 えり子
中央区古典芸能の会	花柳 寿美藏
日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会	鹿島 彰
中央区商店街連合会会長	柴川 賢
中央区工業団体連合会企画委員会委員長	永井 博
全銀座会G2020事務局	永井 真未
晴海トリトンスクエア統一管理者 株式会社晴海コーポレーション総務部長	秋友 一美
日本橋問屋街活性化委員会広報委員会委員長	細谷 昌宏

計11人

### ② 役員(敬称略)

#### ● 部会長

平成28(2016)年3月28日(月)～  
中央区観光協会理事 工藤 哲夫

#### ● 副部会長

平成28(2016)年3月28日(月)～  
東京商工会議所中央支部 岡本 圭祐

### ③ 開催日

- 第1回 平成28(2016)年3月28日(月)
- 第2回 平成28(2016)年5月17日(火)
- 第3回 平成28(2016)年6月29日(水)
- 第4回 平成28(2016)年9月14日(水)
- 第5回 平成29(2017)年2月8日(水)
- 第6回 平成29(2017)年7月3日(月)
- 第7回 平成30(2018)年1月31日(水)
- 第8回 平成30(2018)年6月1日(金)
- 第9回 平成30(2018)年12月14日(金)



- 第10回 平成31(2019)年4月24日(水)(※)
  - 第11回 令和元(2019)年10月31日(木)
  - 第12回 令和元(2019)年11月13日(水)(※)
  - 第13回 令和2(2020)年2月7日(金)(※)
  - 資料送付 令和3(2021)年6月4日(金)
  - 資料送付 令和3(2021)年7月17日(土)
  - 資料送付 令和3(2021)年9月21日(火)
  - 第14回 令和3(2021)年12月8日(水)(※)
  - 資料送付 令和4(2022)年3月(本報告書送付)
- ※ボランティア検討部会と合同開催

- ④ 主な検討内容、成果等
- 中央区多言語表記指針(案)の取りまとめ
  - 折り鶴ウェブ実施案の取りまとめ
  - おもてなしTシャツデザイン案の検討
  - 中央区おもてなしセンター名称案の検討
  - おもてなしロゴ案の検討

### ウ ボランティア検討部会

平成29(2017)年1月、大会開催を契機とした地域のボランティア活動の活性化及び大会後のボランティア文化の継承について検討するため、ボランティア検討部会を設置した。

当検討部会では、ボランティア情報の収集・発信を強化するため、ボランティアへの参加や支援、相談窓口などの情報を集約したウェブサイトの整備について検討し、平成30(2018)年9月に区ホームページにおいてボランティア情報ページの運用を開始した。

また、折り鶴ウェブやブラジルオリンピック委員会拠点におけるおもてなしの取組については、ボランティア検討部会が中心となって方向性や展開内容を検討し、観光・文化検討部会と合同開催した検討部会において実施案を取りまとめた。

- ① 部会員(敬称略) 令和3(2021)年12月8日時点

団体名・役職	氏名
中央区PTA連合会相談役	小川 将
ちゅうおうボラネット会長	鈴木 英子
NPO法人はな街道専務理事	中島 憲一
中央区青少年委員会委員	藤丸 麻紀
中央区地域スポーツクラブ大江戸月島理事	鈴木 明美
日本橋一の部青少年対策地区委員会理事	海老原 裕
一般社団法人銀座インフォメーションマネジメント理事	星原 隆志
株式会社江間忠ホールディングス執行役員開発事業本部開発第一部長	富田 正二
中央区心身障害者・児福祉団体連合会副会長	前場 京子
中央区環境保全ネットワーク副代表	篠原 薫
中央区女性ネットワーク会長	河本 佳子

計11人

② 役員（敬称略。団体名・役職は就任時）

● 部会長

平成29(2017)年1月26日(木)～

豊海小学校PTA副会長 小川 将

● 副部会長

平成29(2017)年1月26日(木)～

ちゅうおうボラネット会長 鈴木 英子

③ 開催日

第1回 平成29(2017)年1月26日(木)

第2回 平成29(2017)年7月6日(木)

第3回 平成30(2018)年1月30日(火)

第4回 平成30(2018)年6月4日(月)

第5回 平成30(2018)年9月28日(金)

第6回 平成30(2018)年11月21日(水)

第7回 平成31(2019)年3月26日(火)

第8回 平成31(2019)年4月24日(水)(※)

第9回 令和元(2019)年7月19日(金)

第10回 令和元(2019)年9月17日(火)

第11回 令和元(2019)年11月13日(水)(※)

第12回 令和2(2020)年2月7日(金)(※)

第13回 令和2(2020)年11月11日(水)

資料送付 令和3(2021)年6月4日(金)

資料送付 令和3(2021)年7月17日(土)

資料送付 令和3(2021)年9月21日(火)

第14回 令和3(2021)年12月8日(水)(※)

資料送付 令和4(2022)年3月(本報告書送付)

※観光・文化検討部会と合同開催

④ 主な検討内容、成果等

● ボランティア情報ページの構成・運用の検討

● 折り鶴ウェブ実施案の取りまとめ

● ブラジルオリンピック委員会拠点におけるおもてなしの取組の運営方法の検討

※豊海小学校・豊海幼稚園PTAを中心とした「ブラジルおもてなしプロジェクトチーム」により運営することとした。同プロジェクトチームについては、184、185ページを参照。

● おもてなしTシャツデザイン案の検討

● 中央区おもてなしセンター名称案の検討

● おもてなしロゴ案の検討

## 東京2020大会を終えて

中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会・検討部会の構成員の方々から、東京2020大会への思いや、区民協議会・検討部会で印象に残ったことなどをお寄せいただいた。



Message

### 〈中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会〉

座長 陣内 秀信 様

選手村のお膝元、中央区にあって、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、地域一体となった熱心な取組が多彩になされたことを嬉しく思います。

中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会で、色々な立場で区の活動に貢献される大勢の皆さまが一同に会し、「おもてなし」の目的のために知恵を出し熱く話し合えたのは、中央区の歴史でも稀有のことで、感動いたしました。

一年の延期の後に、結局、無観客、来日外国人観光客が不在のなかでの開催となり、心をこめて準備された多くの企画が変更、中止を余儀なくされたのは誠に残念でした。それでも、区民が作製した「折り鶴ウェーブ」の12万5千羽の折り鶴が選手村の一角に歓迎オブジェとして展示されて国内外の選手達の心を打ち、また、区立小学校の児童が育てたアサガオ600鉢が選手村のアスリート達の心を和ませる等、国際交流に大きな役割を果たしました。ブラジルのフラッグで装飾された豊海小学校の校舎の情景も目に焼き付いています。

制約下で存分には展開できなかったとはいえ、この数年間で積み上げられたおもてなしの活動の貴重な経験の蓄積は、今後の中央区の国際交流にとって大きな財産になるに違いありません。



Message

### 〈観光・文化検討部会〉

部会長 工藤 哲夫 様

2016年3月に観光・文化検討部会の活動は始まりました。

何しろ区内に選手村が開設され各国の選手・関係者が滞在される訳なので、中央区をアピールするには絶好の機会であり、自然と熱がこもり力も入った次第であります。区内の活動は何があるのか、何なら提供できるのか、何をすれば喜んでもらえるのか、そんなことを熱く議論しながら開催を待ちわびた訳であります。

しかしながら、残念なことにコロナの発生により、すべてが水泡に帰してしまいました。しかも2020が2021へ延期になり、コロナの勢いは収まる気配もなく、無観客開催となり、更に海外から関係者が来る事さえも批判の声が上がり開催出来るか直前まで心配されました。

しかし、結果的に大過なく終了する事が出来、本当に良かったと思う次第であります。もちろん、賛否両論ありますが、来日された選手・関係者からの評判は良く、IOCからも「コロナ禍においては日本でしか開催は出来なかったであろう」というコメントも頂けました。

本来の構想からは残念な結果となりましたが、日本の国として、開催都市東京として、選手村のある中央区としては好評価を頂いたのではないかと思います。将来インバウンドが再開した際には、大きな果実となって戻って来る事を願っております。



〈観光・文化検討部会〉

副部長 岡本 圭祐 様

コロナ禍での大会開催には様々な世論が挙がりましたが、実際に始まると多くの方がスポーツの持つ力や平和への願いなど、オリンピック・パラリンピックの意義を感じたのではないのでしょうか。心配された感染症拡大についても、対策の徹底により大過なく終えました。本来であれば選手・大会関係者に区内を巡ってもらいたかったですが、できる限りを尽くしたことで、日本の遂行能力が改めて認識されるとともに、世界をお迎えするおもてなしの心も感じ取ってもらえたように思います。東京で大会が開催されて良かったと率直に思います。

鹿川 賢吾 様

オール中央区での活動に参加させて頂き、感謝申し上げます。コロナ禍における大会開催は、祝祭感を感じにくかったことが残念だった一方で、自らの限界に挑む選手たちの姿には強い興奮と感動を覚えました。世界平和に貢献するオリンピック・パラリンピックが今後も続くことを切に願います。

竹沢 えり子 様

中央区文化振興プロデュースチームにおいては、各文化団体が大会に向けた文化プログラムに取り組んでいたところ、コロナ禍により現場での実施ができなくなったことは非常に残念です。一方で、準備してきたことを今後の文化発信にどのように生かしていくかが重要だと思います。

鹿島 彰 様

日本橋ルネッサンス100年計画委員会では、オリンピック・パラリンピック後のレガシー形成を念頭に様々な活動をしてまいりました。これまでの活動を通して、引き続き、日本橋地域の魅力を伝えていきたいと思っています。

柴川 賢 様

中央区商店街連合会は、オリンピック聖火リレーのセレブレーションにおいて特産品の展示や飲食物の販売により区のPRを行うブースの運営を行う予定でしたが、コロナ禍により中止となりました。残念ですが、今後の商店振興に少しでも活かしていければと思います。

永井 博 様

大会に向けた地域の自主的な取組を検討するため、両検討部会が設置されましたが、振り返ると、地域の各分野を代表する部会員の皆様と一緒に進めてきたことが、かけがえのない経験になりました。今後もこのつながりを継続していくとともに、各団体と連携して社会貢献に取り組んでいければと思います。

永井 真未 様

全銀座会は、平成26年に大会を契機とした銀座エリア活性化プロジェクト「G2020」を開始し、令和3年12月に8年間の活動を報告書としてまとめました。プロジェクトでの様々な取組から得られた多くの気づきを、これからの銀座のまちづくりにも活かしていきたいと思っています。

秋友 一美 様

晴海トリトンスクエアでは、各関係者と緊密に連携し、特別警戒態勢で安全確保を図り、大会期間を通じて大きなトラブルや事故等なく終えることができました。大会延期前の計画では「中央区おもてなしセンター」の会場として予定されていたこともあり、多くの来街者で賑わう様子を見てみたかった気持ちもあります。



## 〈ボランティア検討部会〉

部会長 小川 将 様

ボランティア検討部会は、区内諸団体の方々にご参加頂き、オリンピック・パラリンピックを契機として大会期間中のみならず将来にわたり、区民の皆様にボランティア精神の醸成を図っていききたいという共通の思いをもって活動をして参りました。

具体的には、日本独自の文化であり平和の象徴でもある折り鶴を世界の方々に届ける「折り鶴ウェブ」、ブラジル・オーストラリア選手団への区内学校・幼稚園の場の提供とおもてなし等、かなり活動が制限された状況になりましたが、参加者は献身的かつ楽しく活動されていました。また、活動自体が周囲への波及に繋がり、ボランティア精神の醸成には一定の成果があったかと考えます。

特に子どもたちにとっては自分の作品が選手に届き感謝されたことや、献身的な気持ちが人の役に立つことを実感できたことがいい思い出になったと思います。そういった精神を持ち続け、その輪を更に広げていくことが私たちボランティア検討部会メンバーの今後の役目だと考えています。ぜひ皆様も色々な形でボランティアに携わっていただきたくお願い申し上げます。



副部会長 鈴木 英子 様

折り鶴を通じて平和への願いとおもてなしの気持ちを表す折り鶴ウェブには、年齢や性別、障害の有無にかかわらず多くの方が参加し、中央区が一体となって取り組む貴重な機会となりました。関わった全ての方々に感謝申し上げます。

これまで大会に向けた取組について検討を重ねてきた観光・文化検討部会とボランティア検討部会ですが、大会後においても、地域の各分野で活動している代表者が集まるこのつながりを継続・発展させ、地域社会への貢献に向けて更なる一歩を踏み出していきたいと思っております。

中島 憲一 様

中央通りの美化に取り組んできたNPO法人はな街道では、パラリンピックマラソンに向け、選手への応援の意味を込めて新たな草花を植えました。当日、選手が駆け抜けていく姿を見たときは、がんばれ！の気持ちと、少しでも花で勇気づけられればとの思いで胸がいっぱいでした。

藤丸 麻紀 様

今大会は多くの会場が無観客となり、シティキャストをはじめとして、やむなく活動のほとんどが消失するボランティアも見受けられました。気持ちを高めて準備してきたボランティアの方々の熱意を、今後の地域のために活かしていけるような取組が必要だと思っております。

鈴木 明美 様

中央区地域スポーツクラブ大江戸月島では、東京での大会開催決定後、定期的に選手村周辺を清掃するおもてなし清掃を開始し、大会時には参加者と場所を広げて区全体での実施が予定されていましたが、残念ながらコロナ禍により中止となりましたが、おもてなしに向けて一体感を感じられたことは意義のあることだと思っています。

〈ボランティア検討部会〉

### 富田 正二 様

地元企業として晴海に本社がある木材会社から検討部会に参加していますが、大会では、区や他の企業と連携して選手村の入口付近に花のプランターを設置しました。大会中は接触を伴う取組が中止となる一方で、非接触で実施できた取組もありますので、できたこと、できなかったことを振り返り、地域の今後につなげていければと思います。

### 前場 京子 様

コロナ禍により、区民協議会・検討部会で時間をかけて準備してきた取組の一部が実施できなかったことは、残念に思っています。一方で、地域の様々な分野の方たちと検討を重ねてきた過程は、とても有意義な経験となりました。両検討部会の皆様、ありがとうございました。

### 篠原 薫 様

ボランティア検討部会での5年間を皆様と共有させて頂けたことに感謝しております。個人的には国際交流で続けている折り紙がオリンピック・パラリンピックを通して“折り鶴ウェーブ”として体験できた事は貴重な邂逅となりました。ありがとうございました。

### 河本 佳子 様

中央区女性ネットワークの会員からは、折り鶴ウェーブなどのおもてなしの取組を通じて大会に参加できたことが嬉しかった、との声をいただいています。参加した方々の想いや行動、交流が結びつき、重なり合うことで中央区ならではのおもてなしが実施できました。この過程や成果を今後に引き継いでいくことが大切だと感じています。



▲令和3(2021)年12月8日開催合同検討部会に出席された皆さん

## 4 東京2020組織委員会への職員派遣

選手村が整備される本区において、大会の開催は、区民生活や事業活動、まちづくりなど区政に密接に関連していることから、平成28(2016)年度から東京2020組織委員会に職員を派遣し、連携しながら進めてきた。

平成30(2018)年4月には、公益的法人等への中央区職員の派遣等に関する条例(平成14年中央区条例第3号)を一部改正し、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律(平成12年法律第50号)に基づき派遣することができる公益的法人等として東京2020組織委員会を追加した。

### ア 派遣職員の実業務内容

- 選手村の整備・運営
- 選手村周辺の地元調整
- 輸送計画の推進

### イ 派遣人数の推移

年度	派遣人数(内訳)
平成28(2016)年度	3人(研修派遣3人)
平成29(2017)年度	7人(研修派遣7人)
平成30(2018)年度	11人(研修派遣4人、法派遣7人)
平成31(2019)年度	12人(研修派遣1人、法派遣11人)
令和2(2020)年度	12人(法派遣12人) ※10月1日～11人(法派遣11人)
令和3(2021)年度	10人(法派遣10人) ※10月1日～9人(法派遣9人) ※11月1日～7人(法派遣7人) ※1月1日～6人(法派遣6人)



▲組織委員会本部が入る晴海トリトンスクエア



### 東京2020大会の運営に携わって

#### 東京2020組織委員会派遣職員から

選手村整備に当たっては、職員や業務上関わる方々が公務員だけでなく民間企業の方やフリーの方、外国の方など考え方や環境が異なる仲間と多くの価値観を共有しながら、手探りで一から始める場面が多々生じました。

また、地元調整では、区の立場も持ちつつ組織委員会として住民の方々と会話をしながら最善の策を考え、取り組んできました。

大会時は、本来の姿とは異なる大会運営となった事もあり、大会運営で大きな軌道修正を求められました。こうした中、フロントデスクやハウスキーピング等、選手団からの多種多様なニーズに応える業務など多忙を極めました。異なる文化を間近で体感する貴重な経験になりました。

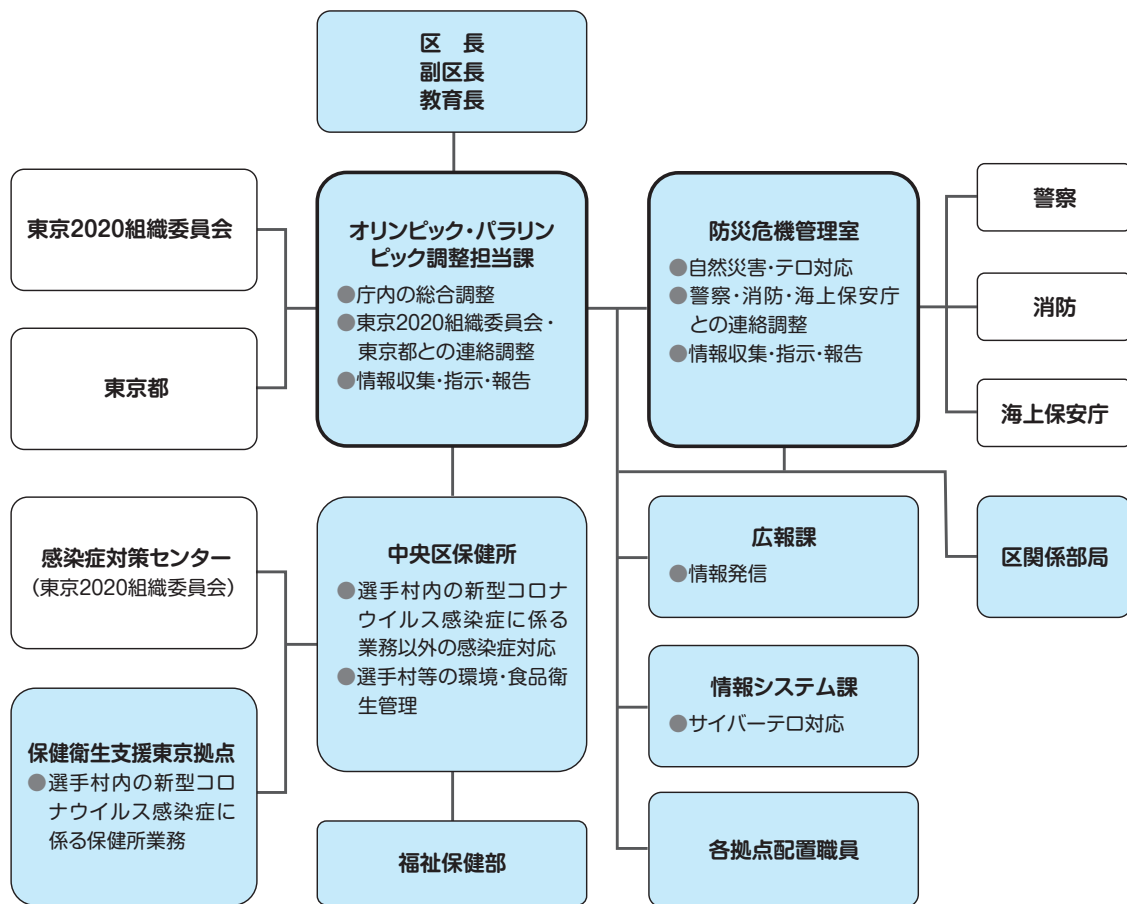
今回の貴重な派遣経験を糧に今後の区政運営に当たっても、情勢に応じた柔軟な対応が個人として、チームとしてできるよう、心掛けていきたいと思っております。

## 5 東京 2020 大会時の体制

大会開催期間及びその前後の期間において、オリンピック・パラリンピック調整担当課と防災危機管理室を中心として、夜間・休日も含め関係機関と連絡調整、情報共有を行い不測の事態に対応できる体制を整えた。

また、選手などのサポート拠点として他国のオリンピック・パラリンピック委員会に貸し出した区施設にも区職員を配置し、運営補助や安全管理を行った。

《東京 2020 大会時の対応体制図》



□は中央区、それ以外は外部の機関

※保健衛生支援東京拠点は、東京都・中央区・東京 2020 組織委員会が連携して設置し、主に東京都職員が中央区併任職員として運営

### ア オリンピック開催期間

#### ① 体制

- 平日の昼間は、関係機関との連絡調整等を含め通常業務体制
- 平日の夜間及び土曜日・日曜日・祝日の昼間・夜間にも区職員が区役所本庁舎に待機
- ブラジルオリンピック委員会拠点に、拠点運営時間中は毎日、区職員を配置



## ② 職員配置

## ●区役所本庁舎待機

期 間：選手村開村前日～閉村

(令和3(2021)年7月12日(月)～8月11日(水)) 計31日間

人 数：延べ46人

## ●ブラジルオリンピック委員会拠点

場 所：豊海小学校・豊海幼稚園

期 間：令和3(2021)年7月23日(祝)～8月8日(祝) 計17日間

人 数：延べ60人

## イ パラリンピック開催期間

## ① 体制

●平日の昼間は、関係機関との連絡調整等を含め通常業務体制

●土曜日・日曜日の昼間にも区職員が区役所本庁舎に待機

●オーストラリアパラリンピック委員会拠点に、拠点運営時間中は毎日、区職員を配置

●夜間は携帯電話などによる連絡体制を確保した上で、自宅待機する区職員を配置

## ② 職員配置

## ●区役所本庁舎待機

期 間：選手村開村～閉村(令和3(2021)年8月17日(火)～9月8日(水))の土・日曜日 計6日間

人 数：延べ6人

## ●オーストラリアパラリンピック委員会拠点

場 所：晴海中学校

期 間：令和3(2021)年8月15日(日)～9月5日(日) 計22日間

人 数：延べ44人

## ●自宅待機

期 間：選手村開村前日～閉村

(令和3(2021)年8月16日(月)～9月8日(水)) 計24日間

人 数：延べ24人

# 3 大会の気運醸成

本区は、東京2020大会の中心となる選手村や、銀座、日本橋、築地など人気のスポットを有することから、多くの選手・大会関係者や観光客が訪れることを想定し、地域が一体となって来街者の受入環境の整備、選手等との交流機会の創出など、さまざまなおもてなしに取り組んできた。さらには、東京2020組織委員会及び東京都が行う大会関連イベントに協力し、東京2020大会が区民等にとって生涯の思い出となる大会となるよう準備を進めてきた。

しかしながら、令和2(2020)年に入って新型コロナウイルス感染症が拡大し、本区がこれまで大会に向けて進めてきたイベントや交流事業も中止・変更を余儀なくされた。そうした中でもオンラインの活用や展示などによる非接触のイベントや交流を実施し、区民の大会参加と地域の魅力発信に取り組んだ。

## 1 区民の大会参加の促進

### ア カウントダウンボード

区役所本庁舎や総合スポーツセンター、区ホームページで平成29(2017)年11月30日(木)(延期前のオリンピック開催967日前、パラリンピック開催999日前)からそれぞれの大会開催までの日数をカウントダウンし、大会の気運醸成を図った。



▲カウントダウンボード(本庁舎)



▲カウントダウンボード(総合スポーツセンター)



▲カウント表示(区ホームページ)

### イ 大会PRツールの活用

東京都から提供された大会エンブレムやマスコット、コアグラフィックスなどがデザインされたポスター、横断幕等を区役所本庁舎、日本橋・月島特別出張所、スポーツ施設、学校等に設置し、大会の気運醸成を図った。



▲本庁舎西側に設置した懸垂幕



▲本庁舎2Fに設置した横断幕



▲築地社会教育会館に設置したのぼり旗

### ウ 東京2020公式オリジナル商品の販売

東京2020大会に向けた気運を一層盛り上げていくため、東京2020組織委員会と連携し、区施設においてオリンピックエンブレムやパラリンピックエンブレム等がデザインされた東京2020公式オリジナル商品を販売した。

販売施設	総合スポーツセンター	観光情報センター
販売開始時期	平成29(2017)年4月29日(祝)	平成29(2017)年9月1日(金)



▲総合スポーツセンターでの商品販売



▲観光情報センターでの商品販売

### エ 東京2020参画プログラムの活用

東京2020組織委員会は、平成28(2016)年10月に東京2020参画プログラムを開始し、「公認プログラム」及び「応援プログラム」の両マークを公表した。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントへの参加やレガシー創出に向けた取組の促進を目的として、各団体が東京2020大会に向けて実施するイベントや事業を8つの分野に渡って東京2020組織委員会が認証する仕組みであり、認証を受けたイベントや事業は、参画プログラムのマークや「オリンピック・パラリンピック」等の文言を使用することができる。同取組は、日本全国で延べ約16万件実施された。

本区においても、公認プログラム及び応援プログラムの申請を推進し、大会の気運醸成や区民の参加意識の向上に取り組んだ。

#### ① 参画プログラムの対象等

区分	公認プログラム	応援プログラム
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>●政府(各府省庁)</li> <li>●開催都市(東京都・都内区市町村)</li> <li>●会場関連自治体(道県・市町)</li> <li>●大会スポンサー</li> <li>●大会放送権者</li> <li>●JOC・JPC</li> <li>●東京2020組織委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会場関連自治体以外の府県・市町村</li> <li>●自治会・町内会等、商店街</li> <li>●国内競技団体・体育協会等</li> <li>●学校関連</li> <li>●経済関連(日本商工会議所等)</li> <li>●国際関連(大使館等)</li> <li>●公益法人、NPO等(株式会社を除く)</li> </ul>
認証分野	「スポーツ・健康」「街づくり」「持続可能性」「文化」「教育」「経済・テクノロジー」「復興」「オールジャパン・世界への発信」	

② 本区における実績

年度	公認プログラム	応援プログラム
平成28(2016)年度	3件	1件
平成29(2017)年度	10件	11件
平成30(2018)年度	11件	17件
令和元(2019)年度	15件	20件
令和2(2020)年度	7件	15件
令和3(2021)年度	6件	3件
合計	52件	67件

※中止等になった事業を含む。

③ 区が認証を受けた事業（公認プログラム）

平成28(2016)年度

番号	事業名	実施日
1	中央区新年子ども羽根つき大会	平成29年1月14日
2	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	平成29年3月16日
3	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会	平成29年3月16日

平成29(2017)年度

番号	事業名	実施日
1	障害者スポーツ体験会	平成29年7月15日～ 平成29年11月25日
2	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会	平成29年7月26日
3	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	平成29年8月24日
4	晴海地区将来ビジョン推進会議	平成29年9月18日～ 平成30年3月31日
5	動物愛護特別講演会 セラピードッグ動物介在療法～人と犬との命の共存～	平成29年9月23日
6	中央区子どもフェスティバル	平成29年10月15日
7	中央区新年子ども羽根つき大会	平成30年1月13日
8	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	平成30年1月26日
9	中央区は、投票に参加します	平成30年2月20日～ 平成30年2月22日
10	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会	平成30年2月27日

平成30(2018)年度

番号	事業名	実施日
1	晴海地区将来ビジョン推進会議	平成30年5月13日～平成31年3月4日
2	中央区ブーケ祭り	平成30年6月22日、平成30年6月23日
3	障害者スポーツ体験会	平成30年7月21日～平成30年12月1日
4	東京五輪音頭-2020-のCD・DVD貸出し事業	平成30年7月31日～令和3年9月5日
5	中央区オリンピック・パラリンピック気運醸成事業補助金	平成30年7月31日～平成31年1月31日
6	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会・パラスポーツ体験会	平成30年7月31日～平成31年3月31日
7	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	平成30年9月21日
8	動物愛護特別講演会 ～人と犬との命の共存～	平成30年9月22日
9	中央区新年こども羽根つき大会	平成31年1月12日
10	耐震フェア	平成31年2月2日
11	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	平成31年2月6日

令和元(2019)年度

番号	事業名	実施日
1	中央区オリンピック・パラリンピック気運醸成事業補助金	平成31年4月1日～令和2年3月31日
2	晴海地区将来ビジョン推進会議	平成31年4月22日～令和2年3月31日
3	東京2020オリンピック・パラリンピックを迎える中央区のおもてなし	令和元年6月1日～令和元年9月1日
4	中央区ブーケ祭り	令和元年6月21日、令和元年6月22日
5	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会	令和元年7月1日～令和2年2月27日
6	水曜イブニングトーク	令和元年7月3日～令和元年10月2日
7	障害者スポーツ体験会	令和元年7月20日～令和元年11月30日
8	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	令和元年7月24日
9	折り鶴ウェーブー中央区おもてなしプロジェクトー	令和元年7月24日～令和2年3月31日
10	動物愛護特別講演会 ～人と犬との命の共存～	令和元年9月21日
11	耐震フェア	令和元年11月30日
12	東京2020大会の成功に向けた区市町村ボランティア	令和元年12月4日～令和3年9月5日
13	中央区新年こども羽根つき大会	令和2年1月11日
14	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	令和2年1月14日
15	障害者ボッチャ大会に向けた交流会	令和2年3月21日

令和2(2020)年度

番号	事業名	実施日
1	「2020年度中央区民カレッジ入学式基調講演」の動画配信	令和2年6月8日～ 令和2年7月27日
2	中央区オリンピック・パラリンピック気運醸成事業補助金	令和2年4月1日～ 令和3年9月5日
3	晴海地区コミュニティ構想検討会議	令和2年9月14日～ 令和3年9月5日
4	「食のまち」築地におけるアートポスター展	令和2年12月25日～ 令和2年12月31日
5	中央区羽根-1グランプリ	令和3年1月9日
6	耐震フェア	令和3年1月30日
7	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	令和3年3月22日

令和3(2021)年度

番号	事業名	実施日
1	中央区東京2020大会に向けた特設Webサイト	令和3年5月1日～ 令和3年9月5日
2	おもてなし清掃	令和3年7月10日～ 令和3年9月4日
3	中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会	令和3年6月3日～ 令和3年9月5日
4	中央区ブーケ祭り	令和3年6月18日、 令和3年6月19日
5	オリンピック・パラリンピックに関する講演会	令和3年6月30日
6	水曜イブニングトーク	令和3年7月7日～ 令和3年9月5日



▲平成29年1月「中央区新年子ども羽根つき大会」立て看板



▲令和元年11月「耐震フェア」チラシ



▲令和2年6月「2020年度中央区民カレッジ入学式基調講演」動画配信

※参画プログラムマークの活用事例

④ 非営利団体が認証を受けた事業(応援プログラム)

平成28(2016)年度

番号	事業名	団体名	実施日
1	外国人向け伝統文化・芸能体験・鑑賞プログラム「みんなで楽しむ日本舞踊の世界 ～The 日本～」	(公財) 東京都歴史文化財団	平成29年3月4日

平成29(2017)年度

番号	事業名	団体名	実施日
1	コ・フェスタ	NPO 法人映像産業振興機構	平成29年5月20日～平成30年3月30日
2	国家指定芸能「能楽」特別鑑賞会	(公社) 能楽協会	平成29年9月19日
3	パラリンアート	(一社) 障がい者自立推進機構	平成29年10月1日～平成29年12月1日
4	第9回キンボールスポーツ ワールドカップ2017東京大会	(一社) 日本キンボールスポーツ連盟	平成29年10月30日～平成29年11月5日
5	第8回 健康ウォーキング	東京商工会議所	平成29年11月11日
6	夢を叶える講演	東京シティ日本橋ロータリークラブ	平成29年11月17日
7	晴海を知る・体感する まち歩きイベント「ブラハルミ」	晴海おもてなし実行委員会	平成29年11月26日
8	東京イルミリア2017	日本橋八重洲仲通り商店会	平成29年11月29日 平成30年2月14日
9	はなやか関西「文化の道」フォーラム	関西広域連合	平成30年2月3日
10	ザワメキアート展2017～信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット～	長野県	平成30年2月15日～平成30年2月17日
11	東京インフィオラータ2018	(一社) 花絵文化協会	平成30年3月12日～平成30年4月15日

平成30(2018)年度

番号	事業名	団体名	実施日
1	雅な公家文化のひとつである香を聞く(聞香)会	(一社) 日本イベント協会	平成30年5月20日
2	親子フェスタ日本橋中洲	中洲町会	平成30年7月14日
3	オープンハウス2018	認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク	平成30年7月21日
4	東京観世会	(一社) 観世会	平成30年7月28日～平成30年11月24日
5	観世会荒磯能	(一社) 観世会	平成30年8月9日～平成30年12月13日
6	カンナ子ども夢プラン「カンナの花リレーで世界を平和にする」活動	非営利任意団体カンナ・プロジェクト	平成30年8月12日～平成30年8月19日
7	坂井兄弟会	NPO 法人白翔會	平成30年8月18日
8	NPO 東京都ウォーキング協会主催ウォーキングイベント	NPO 法人 東京都ウォーキング協会	平成30年9月1日
9	65歳からの貯筋運動教室(ステーション・サテライト)	(公財) 健康・体づくり事業財団	平成30年10月4日～平成30年12月20日
10	知財公開フォーラム2018 みんなで考えようデジタル時代の知的財産	(一社) 日本印刷産業連合会	平成30年10月5日
11	フラワーアイランド晴海2020	晴海おもてなし実行委員会	平成30年10月13日～令和元年6月30日
12	NPO 東京都ウォーキング協会主催ウォーキングイベント	NPO 法人 東京都ウォーキング協会	平成30年10月27日
13	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島体験会	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島	平成30年11月23日

14	東京イルミリア2018	日本橋八重洲仲通り 商店会	平成30年11月28日～ 平成31年2月14日
15	NPO東京都ウォーキング協会主催 ウォーキングイベント	NPO法人東京都ウ ォーキング協会	平成31年2月9日
16	ザワメキアート展2018～信州の障 がいのある人の表現とアール・ブ リュット～	長野県	平成31年2月21日～ 平成31年2月23日
17	NPO東京都ウォーキング協会主催 ウォーキングイベント	NPO法人東京都ウ ォーキング協会	平成31年2月23日

令和元(2019)年度

番号	事業名	団体名	実施日
1	ダンス指導研修会	(一社)ダンス教育振 興連盟JDAC	令和元年5月19日
2	AEAJイメージフレグランスコンテ スト2020	(公社)日本アロマ環 境協会	令和元年7月2日～ 令和元年8月31日
3	世界平和願いの祭典 プレイベント	(一社)世界の平和を 願う会	令和元年7月18日～ 令和元年9月17日
4	オープンハウス2019	認定NPO法人トリト ン・アーツ・ネット ワーク	令和元年7月20日
5	自分で光れ	(一社)日本絵手紙協 会	令和元年8月10日～ 令和2年8月9日
6	坂井兄弟会	NPO法人白翔會	令和元年8月18日
7	21世紀のメッセージ展	21世紀のメッセー ジ作家の視点協会	令和元年8月19日～ 令和元年8月24日
8	AEAJイメージフレグランスコンテ スト2020	(公社)日本アロマ環 境協会	令和元年9月1日～ 令和元年9月30日
9	女流義太夫演奏会2019年9月公演	(一社)義太夫協会	令和元年9月20日
10	女流義太夫演奏会2019年10月公演	(一社)義太夫協会	令和元年10月20日
11	知って 体験 障害者スポーツ	全銀座会	令和元年10月27日
12	AEAJイメージフレグランスコンテ スト2020	(公社)日本アロマ環 境協会	令和元年11月1日～ 令和元年11月30日
13	東京五輪音頭 元気祭 in シル ヴァーウィング新とみ	(福)シルヴァーウィ ング	令和元年11月1日～ 令和2年3月31日
14	NPO東京都ウォーキング協会主催 ウォーキングイベント	NPO法人東京都ウ ォーキング協会	令和元年11月4日
15	TOKYO ILLUMILIA 2020	八重洲一丁目中商店 会	令和元年11月6日～ 令和2年1月15日
16	オリンピック記録映画特集——より 速く、より高く、より強く	(独)国立美術館 国立 映画アーカイブ	令和元年11月26日～ 令和元年12月22日
17	AEAJイメージフレグランスコンテ スト2020	(公社)日本アロマ環 境協会	令和元年12月1日～ 令和元年12月27日
18	泰明小学校でのハンドボール授業(4 年生)	(公財)日本ハンド ボール協会	令和2年1月17日
19	築地でスポーツを応援	NPO法人築地食のま ちづくり協議会	令和2年3月25日～ 令和2年6月30日
20	NPO東京都ウォーキング協会主催 ウォーキングイベント	NPO法人東京都ウ ォーキング協会	令和2年3月28日



令和2(2020)年度

番号	事業名	団体名	実施日
1	ホームページで街の紹介～選手村から選手を呼ぼう～	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島	令和2年4月1日～ 令和2年9月30日
2	東西馬術の接点・浜離宮	(一社)日本古式弓馬術協会	令和2年5月16日
3	いけばなの根源池坊展東京花展「THE BEGINNING -はじまりの花-」	(一財)池坊華道会	令和2年5月20日～ 令和2年5月25日
4	ICT活用バリアフリーサービスの普及啓蒙	社会デザイン・ビジネスラボ	令和2年6月1日～ 令和2年6月30日
5	クリスタルボウル(水晶の楽器)プラネタリウムコンサート～心も体もリフレッシュ～	(一社)クリスタルボウルアカデミージャパン	令和2年6月6日
6	大江戸寄席と花街のおどり その十	(公財)東京都歴史文化財団	令和2年6月28日
7	オープンハウス2020	認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク	令和2年7月4日
8	世界平和願いの祭典	(一社)世界の平和を願う会	令和2年7月18日、 令和2年7月19日
9	みんなで応援!絵手紙でエール!!	(一社)日本絵手紙協会	令和2年7月24日～ 令和2年10月31日
10	明治2020～ワールドカフェ～(第1回)	明治大学	令和2年8月1日～ 令和2年9月30日
11	明治2020～ワールドカフェ～(第2回)	明治大学	令和2年8月1日～ 令和2年9月30日
12	坂井兄弟会	NPO法人白翔會	令和2年8月22日
13	明治2020プロジェクト～東京めぐり	明治大学	令和2年9月1日～ 令和2年9月30日
14	NPO東京都ウォーキング協会主催ウォーキングイベント	NPO法人東京都ウォーキング協会	令和3年1月11日
15	NPO東京都ウォーキング協会主催ウォーキングイベント	NPO法人東京都ウォーキング協会	令和3年2月11日

令和3(2021)年度

番号	事業名	団体名	実施日
1	世界平和願いの祭典	(一社)世界の平和を願う会	令和3年7月10日、 令和3年7月11日
2	坂井兄弟会	NPO法人白翔會	令和3年8月22日
3	21世紀のメッセージ展	21世紀のメッセージ作家の視点協会	令和3年8月23日～ 令和3年8月28日

※参画プログラムマークの活用事例

平成29年11月▶  
「晴海を知る・体感する  
まち歩きイベント  
『ブラハルミ』」チラシ



## オ beyond2020 プログラムの活用

beyond2020 プログラムは、2020年以降を見据え、次世代に誇れるレガシーを創り出す文化プログラムを国が認証する仕組みであり、認証を受けたイベントや事業はbeyond2020ロゴマークを使用することができる。

平成28(2016)年12月からbeyond2020プログラムの受付を開始し、令和3(2021)年12月末時点で日本全国で延べ19,606件実施された。

本区においても、区の魅力発信やレガシー創出のため、区や各種団体主催の取組に対し、beyond2020プログラムの活用を進めてきた。

- 対 象：●国の行政機関(独立行政法人、特殊法人及び認可法人を含む。)
- 地方公共団体(特別区、一部事務組合及び広域連合等を含む。)
  - 国立大学法人及び学校法人
  - 公益法人又はこれに準ずる団体
  - 株式会社等その他法人格を有する団体
  - 上記に掲げる者に準ずると認められる団体

本区における実績(令和3(2021)年12月15日現在)

年度	区主催	各種団体主催
平成28(2016)年度	—	1件
平成29(2017)年度	8件	26件
平成30(2018)年度	11件	29件
令和元(2019)年度	12件	35件
令和2(2020)年度	8件	19件
令和3(2021)年度	9件	8件
合計	48件	118件



▲ロゴマーク

※中止等になった事業を含む

## カ 中央区オリンピック・パラリンピック気運醸成事業補助金の交付による地域支援

東京2020大会を見据えて地域が主体的に行うイベント、おもてなし、魅力発信等の大会の気運醸成につながる取組を支援することにより、地域活動の一層の促進と連携強化を図るとともに、地域が創出する取組を大会後もレガシーとして中央区のさらなる発展に結びつけていくことを目的に、平成30(2018)年度から令和3(2021)年度まで、区内各団体に対する補助金の交付を行った。

### ① 対象団体

- 中央区内に事務所等の活動拠点が所在する次のいずれかに該当する団体
- 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会・検討部会の構成団体
  - 町会及び自治会並びにこれらの連合組織
  - 商店街及び商店街の連合会
  - 上記のいずれかの団体が構成員となる実行委員会等

② 対象事業

補助対象者が事業主体として実施する東京2020大会の気運を醸成し、地域の活性化に資する事業で、次の要件を満たすもの

- 区内で実施される事業であること
- 東京2020大会を見据えた新規事業又は充実事業であること
- 区民、観光客等に参加機会やサービスを提供するものであること
- 政治活動、宗教活動又は営利活動を目的とした事業ではないこと

③ 補助額・補助率

- 補助額 1事業あたり100万円まで
- 補助率 補助対象経費の3分の2

④ 補助実績

- 平成30(2018)年度 3件 651,000円
- 令和元(2019)年度 5件 2,353,000円
- 令和2(2020)年度 2件 522,000円
- 令和3(2021)年度 5件 2,001,000円

⑤ 活用事例

平成30(2018)年度

番号	事業名(団体名)	事業内容
1	ハルミライペーパーの発行 (晴海おもてなし実行委員会)	選手村が整備される晴海地区を誰もが憧れ、住んでみたいと思えるまちづくりの一助とすることを目的としたPR誌の作成
2	晴海選手村予定地 おもてなし大掃除 第50回記念イベント (中央区地域スポーツクラブ大江戸月島)	東京2020大会時に選手に選手村を気持ちよく使ってもらうため、ボランティアで選手村周辺を清掃
3	中央区PTAランPAT事業 (中央区PTA連合会)	東京2020大会開催によるスポーツ気運の盛り上がりの機会を捉え、青少年と地域の安全・安心を目的としたランニングパトロールを実施

令和元(2019)年度

番号	事業名(団体名)	事業内容
1	フラワーアイランド晴海2020 (晴海おもてなし実行委員会)	東京2020大会時に選手や観光客を花でもてなすため、晴海地区内にある花壇等での花植え・稲苗植え及び育成活動を実施
2	ホームページで街の紹介 ～選手村から選手を街に呼ぼう～ (中央区地域スポーツクラブ大江戸月島)	選手村周辺のまちの情報等を多言語で紹介するホームページを制作
3	「知って 体験 障害者スポーツ」 (全銀座会)	「オータムギンザ2019」において、障害者スポーツを知って体験するブース(ボッチャ体験)を設置
4	成人文化教室 (明正小学校PTA 協力:京橋八の部連 合町会)	オリンピックを講師に迎え、スポーツを通して子どもたちの夢や目標を育むことの大切さを学ぶ保護者向け講演会を実施
5	築地でスポーツを応援 (NPO法人築地食のまちづくり協議会)	スポーツの魅力を伝えるとともに、築地の賑わいと魅力発信につながるデザインのフラッグを作成し、築地場外市場内に掲出

令和2(2020)年度

番号	事業名(団体名)	事業内容
1	フラワーアイランド晴海2020 (晴海おもてなし実行委員会)	東京2020大会時に選手や観光客を花でもてなすため、晴海地区内にある花壇等での花植え・稲苗植え及び育成活動を実施(令和元年度から継続)
2	1964年の中央区パネル展示会 (NPO法人築地食のまちづくり協議会)	築地魚河岸内の催事スペースで1964年東京大会時の中央区内の様子を写したパネルの展示会を実施

令和3(2021)年度

番号	事業名(団体名)	事業内容
1	イラストマップ(多言語)制作 (人形町商店街協同組合)	来街者へのおもてなしと、人形町の活況を図るため、人形町の店舗を掲載したマップ(日英表記)を無料配布
2	AMAZING GINZA ステッカーの作成 (全銀座会)	「AMAZING GINZA」のキャッチコピーとロゴのステッカーを作成し、銀座観光案内所G Infoや、来街者が訪れる施設等で配布
3	フラワーアイランド晴海2021 (晴海おもてなし実行委員会)	東京2020大会時に選手や観光客を花でもてなすため、晴海地区内にある花壇等での花植え・稲苗植え及び育成活動を実施(令和元年度から継続)
4	中央区聖火リレーサポーター支援事業 (日本橋浜二町会)	聖火リレーコース沿道周辺の整理等のサポーター活動に協力 ※公道での聖火リレー中止
5	南部鉄器風鈴イベント (松竹株式会社)	晴海通り(歌舞伎座～勝鬨橋付近)沿いを中心に、障害のあるアーティストが描く5色の短冊で彩った南部鉄器風鈴を使い、夏の涼を演出するイベントを開催



▲平成30年度 晴海選手村予定地おもてなし大掃除



▲平成30年度 中央区PTAランPAT事業のピブス



▲令和元年度 「知って 体験 障害者スポーツ」



▲令和元年度 築地でスポーツを応援



▲令和3年度 南部鉄器風鈴イベント

キ 広報活動

区のおしらせ、チラシ、ホームページ、SNS等を活用し、大会関連イベント情報や大会時の交通規制など、東京2020大会に関する情報を広く発信した。

また、東京2020大会に向けた本区の取組を取りまとめた冊子や、大会開催時の本区のおもてなしの取組を整理した冊子を発行し、ホームページにも掲載した。

【主な取組内容】

① 区のおしらせ



▲令和3年7月1日号「東京2020大会が開催されます!」



▲令和3年8月11日号「東京2020パラリンピック競技大会 マラソン競技実施に伴う交通規制について」

② チラシ



▲令和3年10月1日号「写真で振り返る 中央区 東京2020大会」



▲令和3年7月15日発行「東京2020大会開催に伴う交通対策等のおしらせ」

### ③ ホームページ



▲「東京五輪音頭-2020-」CD・DVD貸出しのご案内

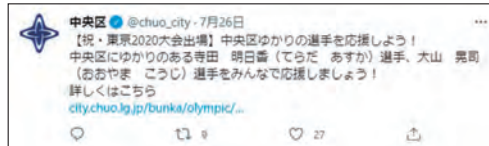


▲折り鶴ウェーブ - 中央区おもてなしプロジェクト

### ④ SNS

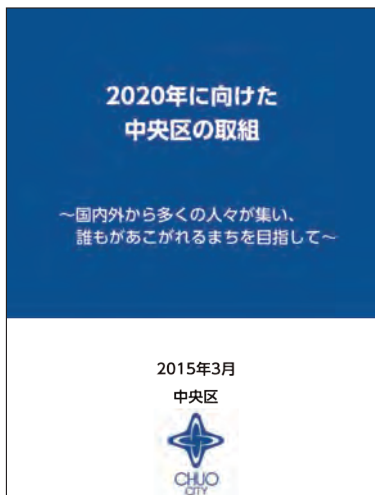


▲令和3年7月23日投稿「ブルーインパルス」(Twitter)



▲令和3年7月26日投稿「中央区ゆかりの選手を応援しよう！」(Twitter)

### ⑤ 冊子



▲平成27年3月発行「2020年に向けた中央区の取組」



▲平成31年3月発行「東京2020オリンピック・パラリンピックを迎える 中央区のおもてなし」

## 2 東京2020組織委員会、東京都、大会パートナー主催のイベント

東京2020組織委員会、東京都及び大会パートナーは、東京2020大会開幕に向けたカウントダウンや1964年の東京大会開催50周年記念、リオデジャネイロ2016大会、平昌2018冬季大会の節目などに、東京開催への気運を醸成するイベントを実施した。

本区においても、開催都市決定から大会実施に至るまで、これらの各種イベントへの協力、後援等により区内の気運の盛り上げと区民の参加促進に取り組んだ。

### 平成27(2015)年

#### ア 日本橋2020シティドレッシング

日本橋で初めての「シティドレッシング」が実施され、街路灯フラッグやアスリートの写真による装飾のほか、アスリートをゲストにしたセレモニー等が実施された。

開催期間：平成27(2015)年10月10日(土)～10月25日(日)

オープニングセレモニー 10月9日(金)午後6時～7時

場 所：中央通りを中心とした日本橋エリア

主 催：三井不動産株式会社

共 催：東京2020組織委員会

後 援：東京都、中央区、JOC、JPC



▲オープニングセレモニー（日本橋仲通り）



▲ビル壁面への大会ロゴの装飾

### 平成28(2016)年

#### ア 東京2020ライブサイト in 2016 -リオから東京へ-

東京都及び東京2020組織委員会は、リオデジャネイロ2016大会期間中、上野恩賜公園、国営昭和記念公園及び東日本大震災の被災3県で、競技中継、映像体感型コンテンツ、競技体験などを行うライブサイトを実施した。

上野恩賜公園では、平成28(2016)年8月6日(土)に「中央区・プリエールジュニアコーラス」(児童合唱団)がステージイベントに出演し、合唱を披露した。



▲ライブサイト会場（上野恩賜公園）



▲ステージで合唱を披露する中央区・プリエールジュニアコーラス

## イ 日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020

リオデジャネイロ2016大会の感動と興奮を再現し、東京への期待感を喚起させる日本代表選手の肖像などを用いたシティドレッシングが実施された。

開催期間：平成28（2016）年9月20日（火）～10月10日（祝）

場 所：中央通りを中心とした日本橋エリア

内 容：大会エンブレムやリオデジャネイロ2016大会に出場した日本代表選手の肖像を用いた大規模な街装飾

主 催：三井不動産株式会社

共 催：東京2020組織委員会

後 援：東京都、中央区、JOC、JPC



▲組織委員会会長、日本代表選手も出席したオープニングセレモニー



▲日本代表選手の肖像が描かれた装飾

## ウ リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本選手団合同パレード

リオデジャネイロ2016大会オリンピック・パラリンピック日本代表選手団への応援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、2020年に向けた気運をさらに高めるため、中央通りをメインルートとして両選手団合同によるパレードが開催された。

当日の交通規制や沿道における観覧者による混雑など地域や区民生活に与える影響が大きいことから、本区では防災危機管理センターに連絡本部を設置し、東京都や東京2020組織委員会、警察署等との連絡体制を整備した。

日 時：平成28（2016）年10月7日（金）

午前10時40分 港区愛宕一丁目（新虎通り）出発式 中央区長・区議会議長等列席

午前11時00分 西新橋二丁目南交差点～新橋四丁目交差点（新虎通り）



- 午前11時15分 銀座八丁目交差点～日本橋室町三丁目交差点（中央通り）  
 正午 パレード終了
- 主 催：リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレード  
 実行委員会（JOC、JPC、東京都、東京2020組織委員会、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局、スポーツ庁）
- 特別協賛：三井不動産株式会社
- 観覧者数：約80万人
- 区への対応：防災危機管理センターに連絡本部を設置  
 江戸バスの迂回ルートでの運行  
 コミュニティサイクルのサイクルポートの一部休止 など



▲中央通りでのパレード（銀座）



▲中央通りでのパレード（日本橋）



▲声援に応えるパラリンピック選手たち



▲車両交通規制のお知らせチラシ

## エ 東京2020文化オリンピックキックオフ

東京2020大会までの4年間に渡る文化オリンピックのキックオフイベントとして、平成28（2016）年10月7日（金）に「幕開き日本橋～東京2020文化オリンピックキックオフ～」が東京都、東京2020組織委員会等により開催された。

- 日 時：平成28（2016）年10月7日（金）  
 午後1時30分～2時40分
- 会 場：福徳の森（日本橋室町二丁目）
- 主 催：東京都、東京2020組織委員会、アーツカウンシル東京、三井不動産株式会社



▲東京2020文化オリンピックキックオフのセレモニー

## 平成29(2017)年

### ア 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが全国を巡回するフラッグツアーが、都内においては平成28(2016)年10月から平成29(2017)年6月まで実施された。本区においても、フラッグ到着を歓迎するセレモニーとフラッグの展示を行った。

#### ① フラッグ歓迎セレモニー

日 時：平成29(2017)年5月3日(祝)  
午前10時20分～10時55分  
(ファミリースポーツデーと同日開催)

会 場：総合スポーツセンター

内 容：●日本橋ゴールドウィングによるチャ  
リーディング演技  
●アンバサダー 外村 哲也 氏(北京  
2008大会トランポリン出場)から区  
長及び区議会議員へフラッグの受渡し  
●アンバサダー 外村 哲也 氏と区内在住  
の学生アスリート 吉田 冬優 氏(平成  
28年度オリンピック強化指定選手/  
水泳)のトークショー等

主 催：東京2020組織委員会、東京都

協 力：中央区

来場者数：約700人



▲フラッグ歓迎セレモニー



▲日本橋ゴールドウィングによる演技

#### ② オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグの展示

期 間：平成29(2017)年4月29日(祝)～  
5月5日(祝)

会 場：総合スポーツセンター



▲フラッグの展示

### イ 1000日前カウントダウンイベント

東京2020組織委員会、東京都、大会パートナー企業の三井不動産株式会社は、大会開催までの1000日前の節目となる平成29(2017)年10月28日(土)、日本橋エリアにおいて各種カウントダウンイベントを実施し、大会気運の盛り上げを図った。本区においても、後援をはじめ、地元との調整など、事業への協力をを行った。

#### ① 東京2020オリンピックカウントダウンイベント

「みんなのTokyo 2020 1000 Days to Go!

日 時：平成29(2017)年10月28日(土)  
午後2時30分～4時

会 場：中央通り(室町三丁目交差点～日本橋  
北詰交差点)

主 催：東京2020組織委員会、東京都

後 援：JOC、中央区



▲1000日前を表す山車

内 容：ステージセレモニー、山車の練り歩き  
初採用種目のデモンストレーション等  
来場者数：15,000人



▲町会（日本橋一の部・六の部）や企業の方も山車の担ぎ手として参加

- ② 日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020  
開催期間：平成29(2017)年10月28日(土)～  
11月29日(水)  
会 場：中央通りを中心とした日本橋エリア  
主 催：三井不動産株式会社、東京2020組織  
委員会  
後 援：JOC、JPC、東京都、中央区

- ③ WE MAKE 2020  
開催期間：平成29(2017)年10月28日(土)～11月29日(水)  
会 場：中央通りを中心とした日本橋エリア  
主 催：三井不動産株式会社  
後 援：日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会、名橋「日本橋」保存会、室町大  
通会、東京中央大通会、中央区、中央区教育委員会  
内 容：シティドレッシングにあわせ、地元の方や区内小学校の児童たちの肖像をフ  
ラッグで掲出

- ④ 日本橋シティドレッシング meets オリンピックコンサート  
日 時：平成29(2017)年10月28日(土)  
1回目公演：午後1時開演、2回目公演：午後6時開演  
会 場：日本橋三井ホール  
主 催：JOC  
後 援：東京都、中央区、中央区教育委員会  
内 容：オリンピック映像とオーケストラ演奏を融合させ、オリンピックの素晴らし  
さを実感してもらうことを目的に開催  
中央区・プリエールジュニアコーラスが合唱で参加  
来 場 者：1回目公演309人、2回目公演379人



▲クライミングの体験コーナー（みんなのTokyo 2020 1000 Days to Go!）



▲オリンピックコンサートに中央区・プリエールジュニアコーラスが参加

## 平成30(2018)年

### ア 東京2020ライブサイト in 2018

東京都及び東京2020組織委員会は、平昌2018冬季大会期間中、井の頭恩賜公園、シンボルプロムナード公園、日比谷公園・東京ミッドタウン日比谷及び東日本大震災の被災3県において、競技中継やアスリートによるトークイベント、地域の学校・団体等によるステージイベントなどを行うライブサイトを実施した。

東京ミッドタウン日比谷では、平成30(2018)年3月18日(日)に中央区・プリエールジュニアコーラスがステージイベントに出演した。

日比谷公園では、中央区観光協会が、オリジナルグッズや地域の老舗商品等の販売や、観光情報の提供などを行うブースを出展した。



▲中央区・プリエールジュニアコーラスのステージ



▲中央区観光協会の出展ブース

## 平成31・令和元(2019)年

### ア 500日前カウントダウンイベント

東京2020組織委員会は、大会500日前(平成31(2019)年3月12日・4月13日)を含む3月1日(金)から5月6日(休)までを「500 Days to Go! / 開催まであと500日!」期間と位置付けて、東京都、大会パートナー企業等と連携してさまざまなイベントプロジェクトを展開した。本区においても、各イベントへの後援をはじめ、地元との調整など、事業協力により大会気運を盛り上げた。

#### ① 東京2020オリンピック競技大会500日前特別記念公演

日本橋 meets オリンピックコンサート

日 時：平成31(2019)年3月12日(火)

1 回目公演 午後5時～6時10分

2 回目公演 午後7時30分～8時40分

会 場：日本橋三井ホール

対 象：1 回目公演 中学生、高校生

2 回目公演 一般

主 催：JOC

特別協力：三井不動産株式会社

後 援：中央区

内 容：オリンピック映像とオーケストラ演奏を融合させたコンサート



▲日本橋 meets オリンピックコンサートチラシ

② 東京2020オリンピック500日前 スポーツピクトグラムPRイベント&英語で選手村を学ぼう

日 時：平成31(2019)年3月12日(火) 午後2時～4時30分  
 会 場：選手村予定地、月島第三小学校  
 対 象：月島第三小学校4年生児童(第1部87人、第2部72人参加)  
 主 催：三井不動産レジデンシャル株式会社、三井不動産株式会社  
 共 催：東京2020組織委員会  
 後 援：中央区、中央区教育委員会  
 内 容：第1部 東京2020オリンピックスポーツピクトグラムを活用したオリンピックに関する課外学習  
 第2部 東京2020公認教育プログラム“選手村で英語を学ぼう”  
 ゲ ス ト：池田 信太郎 氏(オリンピック/バドミントン)  
 松田 丈志 氏(オリンピック/水泳)



▲ピクトグラムPRイベント



▲ピクトグラムPRイベントに参加した児童



▲英語で選手村を学ぶ児童

③ 東京2020 Let's 55 with 野村ホールディングス

日 時：平成31(2019)年3月30日(土)、31日(日)  
 午前10時～午後5時  
 会 場：東京証券取引所  
 対 象：小学生とその保護者  
 主 催：東京2020組織委員会  
 共 催：野村ホールディングス株式会社  
 後 援：スポーツ庁、東京都、JOC、JPC、中央区、中央区教育委員会  
 内 容：競技体験や金融経済教育など



▲Let's 55チラシ



▲東京証券取引所に多くの家族連れが来場  
 (Photo by Tokyo 2020/Uta MUKUO)



▲楽しく体操を体験 (Photo by Tokyo 2020/Uta MUKUO)

- ④ 東京2020パラリンピック500日前記念イベント「英語でパラリンピックを学ぼう」  
 日時：平成31(2019)年4月15日(月)午後1時30分～3時30分  
 会場：豊海小学校  
 対象：豊海小学校6年生児童(3クラス98人参加)  
 主催：三井不動産レジデンシャル株式会社、三井不動産株式会社  
 協力：東京2020組織委員会ほか  
 後援：JPC、中央区、中央区教育委員会  
 内容：第1部 東京2020公認教育プログラム“パラリンピック精神を英語で学ぼう”  
 第2部 パラリンピアンから学ぶ「パラリンピック競技の魅力と“前に進む力”」

ゲスト：小山 恭輔氏(パラリンピアン/水泳)  
 福井 正浩氏(パラリンピアン/車いすラグビー)  
 清水 一二氏(写真家)



▲英語でパラリンピックを学ぶ児童



▲パラリンピアンと一緒に記念撮影

- ⑤ パラリンピック 500Daysバス巡回  
 東京2020パラリンピックの500日前を機に、会場観戦・チケット購入への意識を高めようとするため、パラリンピック競技会場や都内各所をキャラバンバス「500days号」で巡回するイベントが実施された。

本区においては、平成31(2019)年4月10日(水)、選手村にパラリンピックマスコットがラッピングされたバスが巡回した。

主催：東京2020組織委員会、東京都



▲選手村を巡回したパラリンピック500Days号

## イ 日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020

大会パートナーの三井不動産株式会社により、大会1年前のタイミングで、「FEEL 2020」をコンセプトとして、日本橋と中央通りを中心に大会エンブレムや大会ルック、アスリート、一般の方々の肖像を用いた大規模な街装飾が行われた。街に暮らす人や訪れる人、働く人とともに大会気運を高め、大会の成功を応援する取組として行った。

開催期間：令和元(2019)年7月23日(火)～8月25日(日)

場所：中央通りを中心とした日本橋エリア

内容：大会エンブレムやアスリート等の肖像を用いた大規模な街装飾

主 催：三井不動産株式会社  
 共 催：東京2020組織委員会  
 後 援：JOC、JPC、東京都、中央区



▲オープニングセレモニー（東京都提供）



▲大会ルックを使用した装飾

### ウ 超ぶつうじゃない2020展 by 三井不動産

“世界は、こんなに、ぶつうじゃない”をコンセプトに、東京2020大会の競技・種目、選手について、楽しく遊んで学べる体験型の展示イベントが開催された。

日 時：令和元（2019）年7月23日（火）～8月4日（日）午前11時～午後7時

会 場：COREDO室町テラス 大屋根広場（日本橋室町3-2-1）

内 容：アスリートの凄さやスポーツを身近に感じられる体験型展示イベント  
 （0m走、エクスカリバー背筋力測定、バレーボール自販機、カラテ・キャンドル、ウエイトリフター顔ハメ、ロングジャンプの泉、クライミングポスト、だれでもフェンシング、巨大アスリート・バルーン「ジャナイくん」など）

主 催：三井不動産株式会社  
 協 力：東京2020組織委員会ほか  
 後 援：中央区



▲アスリートの凄さを体験できる多くの展示



▲巨大アスリート・バルーン「ジャナイくん」



▲クライミングポスト



▲ウエイトリフター顔ハメ

## エ 東京2020オリンピック1年前セレモニー

東京2020組織委員会及び東京都は、東京2020オリンピック1年前の節目となる令和元(2019)年7月24日(水)に、世界中のアスリートに東京2020オリンピックへの参加を呼び掛け、大会関係者と共に翌年に迫った大会への決起を行うため、各国NOC、国内競技団体、関係自治体、大会準備に携わったステークホルダー等を招いたセレモニーを行った。

- 日 時：令和元(2019)年7月24日(水) 午後2時～3時30分  
会 場：東京国際フォーラム ホールA(千代田区丸の内3-5-1)  
内 容：東京2020オリンピックメダルデザイン発表  
東京2020オリンピック聖火ランナー募集PR等  
主 催：東京2020組織委員会、東京都  
参 加 者：IOC、各国NOC、各競技連盟、アスリート、都内小・中・高生等

## オ マラソングランドチャンピオンシップ(テストイベント)

東京2020大会の約1年前、日本代表選考レースであるマラソングランドチャンピオンシップ(以下「MGC」という。)が初めて開催された。

MGCのコースは、スタートとフィニッシュが明治神宮外苑周辺であること以外は東京2020オリンピックマラソンコースと同じであり、テストイベントとしても位置付けられた。

区においても、大会時のマラソン本番を想定した体制を組んで対応した。なお、MGC開催後にオリンピックマラソンは札幌開催に変更となったが、東京開催のパラリンピックマラソン時にはMGCの経験を踏まえて体制整備を行った。

- 日 時：令和元(2019)年9月15日(日)  
午前8時50分 男子マラソンスタート  
午前9時10分 女子マラソンスタート  
主 催：公益財団法人日本陸上競技連盟  
後 援：東京都、中央区、千代田区、港区、新宿区、文京区、台東区、渋谷区  
本区の対応：

### ●区施設の貸出

施設	使用目的
総合スポーツセンター	スタッフの着替え、待機場所
京橋公園、堀留児童公園、浜町公園	スタッフの集合場所、鉄柵等競技資機材の保管

### ●安全管理体制

開催当日、防災危機管理室に本部を設置し、大会本番を見据えて関係機関等との連絡調整、情報共有を行い不測の事態に対応する体制を組んだ。

役割	担当部署
総括	企画部長
主催者等との連絡調整	オリンピック・パラリンピック調整担当課
警察・消防等との連絡調整	危機管理課
放置自転車等の整理	環境政策課
公衆便所の管理	水とみどりの課
区道の管理	道路課



- 交通規制情報の区ホームページへの掲載、区施設での告知チラシの配架
- 江戸バス（北循環）の一部運休
- コミュニティサイクルポートの一部休止



▲多くの観戦客でにぎわう日本橋付近の沿道（左右写真）



▲マラソングランドチャンピオンシップコース図

カ 参考：カウントダウンイベント一覧

開催日	区分	イベント名(会場)
平成27(2015)年1月12日	2020日前	東京2020オリンピックカウントダウンイベント「みんなのスタート! 2020 Days to Tokyo 2020」(都民広場)
平成27(2015)年3月5日	2000日前	東京2020パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのスタート! 2000 Days to Go !!」(東京インターナショナルスクール)
平成27(2015)年7月24日	5年前	東京2020オリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 5 Years to Go!!」(シンボルプロムナード公園)
平成27(2015)年8月25日		東京2020パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 5 Years to Go!!」(ダイバーシティ東京 プラザ)
平成28(2016)年7月24日	4年前	東京2020オリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 4 Years to Go!!」(羽田空港)
平成28(2016)年8月25日		東京2020パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 4 Years to Go!!」(都立府中けやきの森学園、都民広場)
平成29(2017)年7月24日	3年前	東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーフエスティバル～みんなのTokyo2020 3 Years to Go!～(都民広場)
平成29(2017)年8月25日		あと3年で開幕!!! 東京2020パラリンピックカウントダウンイベント～みんなのTokyo 2020 3 Years to Go!～(アーバンドック ららぽーと豊洲)
平成29(2017)年10月28日	1000日前	東京2020オリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 1000 Days to Go!!」(日本橋中央通り)
平成29(2017)年11月29日		東京2020パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 1000 Days to Go!!」(東京スカイツリータウン)
平成30(2018)年7月24日	2年前	開幕まであと2年! 東京2020オリンピックカウントダウンイベント～みんなのTokyo 2020 2 Years to Go!～(東京スカイツリータウン)
平成30(2018)年8月25日		開幕まであと2年! 東京2020パラリンピックカウントダウンイベント～みんなのTokyo 2020 2 Years to Go!～(MEGA WEB(江東区青海)等)
平成31(2019)年3～4月	500日前	大会500日前カウントダウン各種イベント(東京駅丸の内中央広場等)
令和元(2019)年7月24日	1年前	東京2020オリンピック1年前セレモニー(東京国際フォーラム)
令和元(2019)年8月25日		東京2020パラリンピック1年前カウントダウンセレモニー(NHKホール)
令和2(2020)年1月24日	半年前	東京2020イヤー記念セレモニー(ヒルトン東京お台場)
令和2(2020)年7月23日	1年前(延期後)	一年後へ。一歩進む。～+1(プラスワン)メッセージ～ TOKYO2020(オリンピックスタジアムからオンライン配信)
令和3(2021)年4月14日	100日前(延期後)	東京2020オリンピック100日前 大会マスコット像とオリンピックシンボルのお披露目(都庁、高尾山山頂からオンライン配信)
令和3(2021)年5月16日		東京2020パラリンピック100日前セレモニー(都庁からオンライン配信)

### 3 パラスポーツ関連イベント

東京都では、平成27(2015)年度から区市町村等が主催するイベント開催にあわせて、パラリンピックの魅力を伝える東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を提供してきた。事業名称である「NO LIMITS CHALLENGE」は、「パラアスリートの無限の可能性の追求」を表現する「NO LIMITS」と、参加型イベントであることを想起させる「CHALLENGE」という2つの言葉を由来としている。

また、パラスポーツ(障害者スポーツ全体を指して使用)のファン・サポーターを増やし、障害者スポーツの認知度を向上させるとともに、東京2020大会以降も障害者スポーツを継続して社会に根付かせるために都民の障害者スポーツ観戦を促す総合的な普及啓発事業「TEAM BEYOND」プロジェクトを平成28年度から展開している。

本区においても、区民がパラスポーツに触れ、大会への関心を高めてもらう機会となることから、東京都主催イベントへの協力や区主催イベントと「NO LIMITS CHALLENGE」を同時開催するなど、東京都と連携してパラスポーツの普及に取り組んだ。

#### ア NO LIMITS SPECIAL GINZA & TOKYO

平成28(2016)年5月、ゴールデンウィークでにぎわう銀座の中央通りで、NO LIMITS CHALLENGEのスペシャル版としてパラスポーツのさまざまなプログラムが、東京都の主催で開催された。

メインステージでは、車いすテニスから、北京、ロンドンパラリンピック金メダリストの国枝慎吾選手、アテネパラリンピック金メダリストの齋田悟司選手、史上最年少でダブルス年間グランドスラム達成の上地結衣選手、ウィルチェアーラグビーから、リオデジャネイロ2016大会に出場が決定した世界ランキング3位の日本代表チームが登場し、競技のデモンストレーションを行った。

トップアスリートから説明を受けることができるパラリンピック競技の展示・体験エリアにも多くの来場者が訪れ、競技の奥深さを知るなど、街中でパラリンピックの魅力を体感できるイベントとなった。

日 時：平成28(2016)年5月2日(月)午後1時15分～4時

場 所：銀座中央通り(銀座通り口交差点～銀座二丁目交差点車道)

実施内容：<メインコート>

- オープニングセレモニー
- 車いすテニスデモンストレーション
- ウィルチェアーラグビーデモンストレーション

<競技体験・展示ブース>

陸上競技、パワーリフティング、ブラインドサッカー、ボッチャ、ウィルチェアーラグビー、車いすバスケットボール、車いすテニス、ゴールボール(累計競技体験者数 355人)

来場者数：22,000人



▲オープニングセレモニー

主催：東京都  
 後援：東京2020組織委員会、中央区、(公財)日本障がい者スポーツ協会、全銀座会、銀座通連合会、読売新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社



▲車いすラグビーのデモンストレーション



▲車いすテニスのデモンストレーション



▲ブラインドサッカーの体験



▲車いすバスケットボールの体験

### イ 第30回ファミリースポーツデー・NO LIMITS CHALLENGE 同時開催

区のファミリースポーツデー開催と連携し、総合スポーツセンターでボッチャ体験などが楽しめるNO LIMITS CHALLENGEが開催された。

日時：令和元(2019)年5月2日(休) 午前10時～午後3時

会場：総合スポーツセンター2階

内容：ボッチャ体験会、アスリート(佐藤駿選手/ボッチャ)による競技レクチャー、競技パネル・競技道具展示、パラリンピックガイド配布、景品プレゼント等

主催：東京都



▲ゲストアスリートによるボッチャの競技レクチャー



▲車いすレーサーの体験

## ウ BEYOND FES 日本橋

パラスポーツ応援プロジェクト「TEAM BEYOND」の一環として、多くの人にパラスポーツの競技や選手に興味を持っていただき、競技会場での観戦・応援の促進を図るイベント「BEYOND FES 日本橋」が開催された。「みんなが楽しめる！それがパラスポーツ！」を合い言葉に、地元の店舗やパラスポーツ支援に取り組んでいる「TEAM BEYOND」企業・団体メンバーの協力のもと、ステージや競技体験、展示等によりパラスポーツの魅力を広く発信する取組となった。

本区は、本イベントを後援するとともに、「折り鶴ウェーブ中央区おもてなしプロジェクト」の折り鶴製作ができるブースを出展した。

また、ステージイベントには中央区高齢者クラブ連合会の8人が出演し、レクリエーションダンスを披露した。

日時：令和元（2019）年11月5日（火）～11月11日（月） 午前11時～午後8時

会場：COREDO 室町テラス大屋根広場及び日本橋周辺

主催：東京都

後援：中央区、（公財）日本障がい者スポーツ協会

- 内容：●日本橋エリア全体を巻き込んだ「老舗めぐり」と「パラスポーツPR」  
老舗店舗やアンテナショップなどと連携し、スタンプラリーを通じて伝統・文化を堪能してもらいながら店舗に競技パネル等を展示して紹介
- 1週間まるごとパラスポーツ！（ステージ、体験会、ブース出展など）
  - サイネージ等を活用した会場周辺での広報展開や、ワンハンドフードを提供するキッチンカーの出店など



▲BEYOND FES 日本橋チラシ



▲オープニングセレモニーのフォトセッション（東京都提供）



▲折り鶴ウェーブの出展ブース



▲中央区高齢者クラブ連合会のレクリエーションダンス（東京都提供）

## 4 区・関係団体主催の気運醸成イベント

本区は、大会中のおもてなしプロジェクトや、東京2020組織委員会・東京都等主催イベントとの連携のほかにも、著名なオリンピック・パラリンピアンを講師に招いた講演会、大会グッズ、大会マスコット、東京五輪音頭などを活用した気運醸成イベントなどを展開し、子どもから高齢者まで広く大会に興味・関心を持ってもらえるよう取り組んできた。

### ア 1964年東京オリンピック・パラリンピック競技大会50周年記念事業

東京2020大会に向けた気運醸成のキックオフとして、1964年東京大会から50周年の節目にあたる平成26(2014)年10月の体育の日を中心に、東京都及び都内区市町村が連携した50周年記念事業が実施された。

本区においては、区役所本庁舎、日本橋・月島特別出張所、総合スポーツセンター等において、50周年記念ポスター掲示及びリーフレット配布を行った。

また、次のイベントにおける来場者への50周年記念グッズの配布をはじめ、イベントに応じて1964年東京大会のパネル展示、映像放映、ポスター掲示等も実施した。

平成26(2014)年

9月6日(土) 第68回区民体育大会総合開会式

10月13日(祝) 第26回「区民スポーツの日」・1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念パネル展(同時開催)

10月19日(日) 第35回中央区子どもフェスティバル

10月26日(日) 中央区健康福祉まつり2014

### イ オリンピック・パラリンピックに関する講演会

東京2020大会開催に向け、区民等の大会気運を高めるきっかけづくりの場として、さまざまなジャンルの方を講師に招き、オリンピック・パラリンピックに関する講演会を平成27(2015)年度から計13回開催した。

令和2(2020)年度からは、新型コロナウイルス感染症対策として会場の3密を避けながら、多くの区民の参加を図るため、リアルタイムでのオンライン配信を併用して開催した。

講演会実績

開催回	開催日	講演テーマ	講師（敬称略）	参加者
平成27年度 第1回	7月24日	1998年長野冬季五輪での市民参加の状況	銀座NAGANO 所長 熊谷 晃	78人
		世界のアスリートを迎える中央区民のための健康メソッドとスポーツ環境	早稲田大学スポーツ科学学術院教授（教育学博士） 中村 好男	
平成27年度 第2回	2月1日	パラリンピックの見どころとパラリンピアンが体験した選手村	競泳選手 パラリンピアン 木村 敬一	58人
平成28年度 第1回	8月1日	オリンピックが体験したことそしてリオ2016大会について	元バレーボール全日本女子代表 オリンピック 大山 加奈	89人
平成28年度 第2回	3月16日	メダリストが体験したリオ2016大会について	リオ2016大会競泳バタフライ銅メダリスト 星 奈津美	70人
平成29年度 第1回	8月24日	東京2020大会後を見据えた共生社会の実現	アテネ・北京・ロンドン大会出場 パラリンピアン 田口 亜希	91人
平成29年度 第2回	1月26日	パラスポーツの魅力と東京2020大会に向けて私たちにできること	日本財団パラリンピックサポートセンター マクドナルド 山本 恵理	60人
平成30年度 第1回	9月21日	日本の裏側・ブラジルについて距離を理解で縮めよう	●株式会社 明治 コミュニケーション本部広報部ダイレクター コミュニケーションG参与 飯泉 千寿子 ●ブラジルオリンピック委員会 インターナショナルゲームズ& オペレーションズ モエマ ラモス	81人
平成30年度 第2回	2月6日	困難を乗り越えて見つけた「自分らしさ」	一般社団法人障がい者スポーツ・アート・ミュージック振興協会 大前 光市	87人
令和元年度 第1回	7月24日	東京2020オリンピックマラソンを楽しもう	陸上競技シドニー・アテネ大会出場 大島 めぐみ	96人
令和元年度 第2回	1月14日	夢を実現するためには	日本パラリンピック委員会 委員長 河合 純一	82人
令和2年度	3月22日	ママさんアスリートの挑戦	区内在住 陸上競技選手 寺田 明日香	53人 (内訳) 来場 32人 オンライン 21人
令和3年度 第1回	6月30日	アスリートを食の力で支える	株式会社 明治 管理栄養士 大前 恵	57人 (内訳) 来場 28人 オンライン 29人
令和3年度 第2回	11月30日	東京2020大会出場を振り返る	区内在住 オリンピック陸上競技 女子100メートルハードル出場 寺田 明日香 警視庁月島警察署所属 パラリンピックアーチェリー男子W1・混合チームW1 出場 大山 晃司	32人 (内訳) 来場 22人 オンライン 10人



▲平成27年度  
第1回講師 熊谷 晃氏



▲平成27年度  
第1回講師 中村 好男氏



▲平成27年度  
第2回講師 木村 敬一氏



▲平成28年度  
第1回講師 大山 加奈氏



▲平成28年度  
第2回講師 星 奈津美氏



▲平成29年度  
第1回講師 田口 亜希氏



▲平成29年度  
第2回講師 マクドナルド 山本 恵理氏



▲平成30年度  
第1回講師 飯泉 千寿子氏



▲平成30年度  
第1回講師 モエマ ラモス氏



▲平成30年度  
第2回講師 大前 光市氏  
(Photo by Katsunori Takayama)



▲令和元年度  
第1回講師 大島 めぐみ氏



▲令和元年度  
第2回講師 河合 純一氏



▲令和2年度  
講師 寺田 明日香氏



▲令和3年度  
第1回講師 大前 恵氏



▲令和3年度  
第2回講師 寺田 明日香氏、大山 晃司氏

## ウ 区内イベント等における東京五輪音頭-2020-の活用

東京2020組織委員会は、東京2020大会に向けて気運を醸成するため、昭和38(1963)年に制作され、歌い継がれてきた「東京五輪音頭」を新たに現代版としてリメイクし、改めて東京の魅力伝える「東京五輪音頭-2020-」を平成29(2017)年に制作した。

本区では、地域で実施されるお祭りやイベントなどにおいて東京五輪音頭-2020-の活用を促すため、区内図書館でCD及びDVDの貸出しを行った。平成30(2018)年からは、中央区大江戸まつり盆おどり大会においても新たな曲目として追加し、盆踊り練習会や大江戸まつり当日には、多くの参加者が東京五輪音頭を楽しんだ。



▲盆踊り練習会で東京五輪音頭-2020-を練習



▲大江戸まつり盆おどり大会で多くの方が東京五輪音頭を踊った

## エ 東京2020大会気運醸成イベント～東京2020マスコットと東京2020大会を学ぼう！～

東京2020大会の気運を盛り上げるとともに、区民等の交流の促進とさらなる地域活動の活性化を図ることを目的に、令和元(2019)年8月の中央区大江戸まつり盆おどり大会と同日開催で、東京2020マスコット(ミライトワ、ソメイティ)が出演する東京2020大会気運醸成イベントを実施した。

日 程：令和元(2019)年8月23日(金)

場 所：浜町公園

内 容：東京2020マスコットによる東京2020大会に関するクイズ大会の実施



▲クイズ大会で東京2020大会をPRするミライトワとソメイティ

## オ 古典芸能鑑賞会プログラム

中央区文化・国際交流振興協会では、江戸以来の歴史と伝統を誇る中央区ならではの古典芸能の鑑賞会を毎年6月に開催している。

令和3(2021)年の第23回古典芸能鑑賞会では、東京2020大会の気運醸成につながる講話「中央区郷土よもやま話 弥次喜多と十返舎一九から東京五輪まで」が演目のトップを飾った。



日 時：令和3(2021)年6月5日(土)午後5時開演  
 会 場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」  
 企画・制作：中央区古典芸能の会  
 主 催：中央区文化・国際交流振興協会

## 5 ラグビーワールドカップ2019™に向けた区内のイベント

東京2020大会(延期前)の約1年前に開催されたラグビーワールドカップ2019™は、世界的に人気のスポーツイベントとして本区にも国内外から多くの観戦客が訪れた。

ラグビーワールドカップ2019™は、東京2020大会につながるスポーツイベントであり、本区も地域とともにワールドカップの盛り上げや、地域の魅力発信などに取り組んだ。

### 【ラグビーワールドカップ2019™開催概要】

大会名称：ラグビーワールドカップ2019™日本大会(第9回)

主 催：ワールドラグビー(WR)

開催期間：令和元(2019)年9月20日(金)～11月2日(土) 44日間

開催都市：札幌市、岩手県・釜石市、埼玉県・熊谷市、東京都、神奈川県・横浜市、静岡県、愛知県・豊田市、大阪府・東大阪市、神戸市、福岡県・福岡市、熊本県・熊本市、大分県 計12会場(19自治体)

出 場 国：20カ国

試 合 数：45試合

入場者数：170万4,443人

ファンゾーン来場者数：113万7,000人(うち、区部会場17万8,600人)

### ア ストリートラグビーイベント

ラグビーワールドカップとオリンピック・パラリンピックの開催都市という共通点をもつ東京都と英国ロンドン市の友好都市関係締結のため来日したボリス・ジョンソン市長(現英国首相 令和4(2022)年2月現在)が、ストリートラグビー発祥の中央区に立ち寄り、有馬小学校の児童とストリートラグビーを体験した。

日 時：平成27(2015)年10月15日(木)午後2時20分～

会 場：東京スクエアガーデン1階エントランス前

主 催：京橋一の部連合町会、ストリートラグビーアライアンス

協 力：日本橋六の部連合町会



▲ストリートラグビーのデモンストレーション



▲ロンドン市長と交流する有馬小学校児童

## イ ラグビーワールドカップ2019™日本大会銀座ラグビーストリートPRイベント

日本でのワールドカップ開催を印象付けていくため、銀座のまちにラグビー場を出現させるイベントが開催された。

日 時：令和元（2019）年5月12日（日） 午後1時～4時

場 所：銀座みゆき通り

内 容：バナーやフラッグによるラグビーワールドカップの露出、ストリートラグビー体験、元日本代表選手によるトークショー、パートナー企業展示など

主 催：ラグビーワールドカップ2019組織委員会

来場者数：約2万5千人

アクティビティ参加者数：1,968人

## ウ ラグビーワールドカップ2019™開催における区取組

### ① ラグビーワールドカップ2019™日本大会in東京（区部会場）でのブース出展

ラグビーワールドカップ2019™の開催期間中、千代田区の東京スポーツスクエアで、試合中継を大画面で楽しむことのできるパブリックビューイングや、ステージイベント、ラグビー体験コーナーなどを展開するファンゾーンが東京都により開催され、国内外から多くのラグビーファンを集めた。

本区からは、中央区観光協会が観光PR及びオリジナル商品（風呂敷、巾着袋など）の販売ブースを出展した（計5日間）。

開催日数：令和元（2019）年9月20日（金）～11日2日（土）のうち26日間

※うち1日は台風で中止

会 場：東京スポーツスクエア（千代田区丸の内三丁目）

内 容：パブリックビューイング、飲食コーナー、ステージイベント、観光PR等

主 催：東京都



▲ファンゾーンには多くの海外観戦客も訪れた



▲ラグビー体験コーナーも人気



▲ラグビーの魅力伝えるミュージアム



▲全国各地の観光PRスペース

- ② 懸垂幕の掲出  
掲出期間：平成31(2019)年1月7日～31日、3月16日～31日  
令和元(2019)年8月1日～14日、9月2日～11日 計65日間  
掲出場所：区役所本庁舎西側  
懸垂幕の表示：「ラグビーワールドカップ2019日本大会 2019年9月20日から11月2日まで開催 東京会場：東京スタジアム」
- ③ のぼり旗掲出、パンフレット配布、ポスター掲示  
掲出時期：令和元(2019)年8月～11月頃  
場 所：総合スポーツセンターなど
- ④ 商店街の協力
- ファンゾーンちらしの配布場所提供(銀座通連合会)など
  - フラッグ掲出(銀座みゆき通り、並木通り、銀座鈴らん通り、中央通り、晴海通り、八丁堀鈴らん通り ほか)

# 4 大会に向けた本区の取組

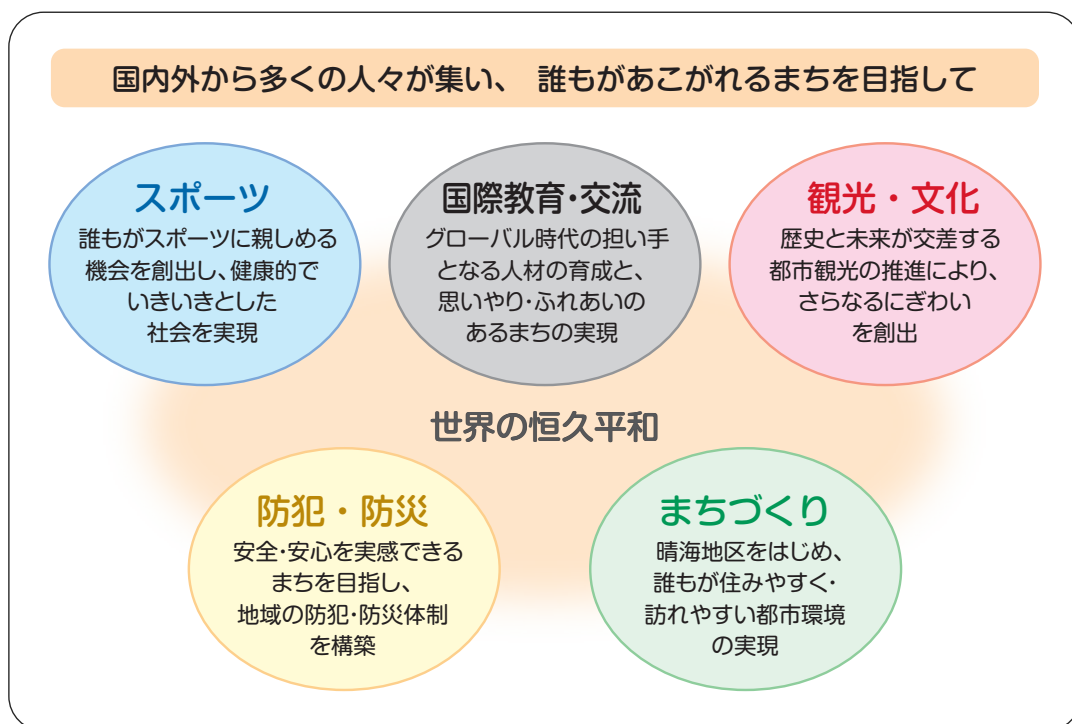
## 1 概要

選手村を擁する本区は、大会理念を「平和」と位置付け、「平和の尊さ」を世界へ力強く発信していくとともに、オール中央区で大会を盛り上げ、地域全体を活性化させていく絶好の機会と捉えて取り組んでいくこととした。

また、大会後の晴海地区のまちづくりに向けては、晴海全体がにぎわいと活気に満ちた魅力あるまちとなるよう、小・中学校をはじめとする公共・公益施設や公共交通を整備・充実させ、さまざまな人々が集い、交流する豊かなコミュニティを築いていかなければならない。

こうした大会開催に伴う諸課題に的確に対応し、本区に大会のプラス効果を波及させ、さらなる発展につなげていくため、区では平成27(2015)年3月に「2020年に向けた中央区の取組」を取りまとめた。「平和」をあらゆる施策の根幹に据えながら、「スポーツ」「国際教育・交流」「観光・文化」「防犯・防災」「まちづくり」の5分野を中心とした取組の方向性を明らかにして、「誰もがあこがれるまち」を目指してハード・ソフト両面からの取組を進めた。

しかし、大会本番の年となる令和2(2020)年に入り新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、大会は1年延期となり、大会の在り方も大幅に見直された。外国人観戦客受入れの見送り、無観客開催、選手等の行動制限などにより、大会に向けた本区の取組も変更・中止を余儀なくされたが、東京2020組織委員会、東京都など関係機関と連携しながら安全な大会の実現に協力するとともに、地域の安全を確保しながら可能な限り大会への区民参加を進め、着実なまちづくりに向けて取り組んだ。



平成27(2015)年3月発行「2020年に向けた中央区の取組」より

## 2 「スポーツ」の取組

誰もがスポーツに親しめる機会を創出し、健康的でいきいきとした社会の実現を目指して、スポーツ振興に関する施策の策定、区民のスポーツ参加意識の向上、障害者スポーツの普及促進、地域スポーツ活動の推進や環境づくりなどの取組を進めた。

### 主な取組

#### ア スポーツ推進ビジョンの策定・実施

東京2020大会開催の機会を捉え、スポーツの概念を健康づくりやレクリエーションなども含めて広く捉え直すとともに、これまでのスポーツ推進の取組をさらに充実・発展させていくため、平成29(2017)年3月、本区のスポーツ推進の方向を示す「中央区スポーツ推進ビジョン」を策定した。

- ① ビジョンの期間  
平成29(2017)年度から令和8(2026)年度までの10年間
- ② 基本理念  
「誰もがスポーツを楽しみ、人と地域が輝くまち」
- ③ 数値目標
  - 週1回以上スポーツを行う成人の割合 65%以上
  - 週3回以上スポーツを行う成人の割合 30%以上
- ④ 基本目標
  - ライフステージ等に応じたスポーツを楽しむ機会の充実
  - スポーツができる場の確保・整備
  - スポーツを推進する人材の育成
  - 情報提供・発信の充実
  - スポーツが持つ力の地域への活用

#### イ スポーツの楽しさ発見事業

スポーツ実施層の裾野を広げていくため、平成27(2015)年度から、運動に関する基礎を培う時期の児童を対象に、身体や体力づくりなどのさまざまな経験を通して自らの可能性を発見することで、得意・不得意にかかわらずスポーツに親しむきっかけづくりとなる教室や講演会などを開催した。

場 所：総合スポーツセンター

対 象 者：(教室) 区内在住・在学の小学3～5年生

(講演会等) 区内在住・在学の小学生及びその保護者

## 開催実績

開催年度	教室			講演会等	
	実施回数	延べ参加人数	主な実施種目	実施回数	延べ参加人数
平成27(2015)	30	763	・基礎トレーニング ・伝承あそび ・ドッチビーを使った運動遊び ・マット運動 ・ボールゲーム ・ダンス ・陸上運動 ・セストボール ・なわとび ・サッカー ・フライングディスク・ゲーム ・ミニテニス ※内容は年度により異なる	4	196
平成28(2016)	30	934		4	94
平成29(2017)	30	691		4	175
平成30(2018)	30	975		4	226
令和元(2019)	30	874		4	191
令和2(2020)	15	558		2	92



▲スポーツの楽しさ発見事業（ミニテニス）



▲スポーツの楽しさ発見事業（マット運動）

## ウ 障害者スポーツの推進

### ① 障害者スポーツ体験会

障害者が気軽にスポーツに参加し、楽しみ、親しむきっかけづくりの場として、平成25(2013)年度から、パラリンピック競技種目のボッチャをはじめ、数種類の障害者スポーツの体験会を開催し、障害のある方のスポーツ参加の促進を図った。

場所：総合スポーツセンター

## 開催実績

開催年度	実施回数	延べ参加人数	主な実施種目
平成25(2013)	2	48	・ラケットテニス ・ボッチャ ・吹き矢 ・卓球バレー ・ストラックアウト ・ハンドアーチェリー ・ダンス ・ガラッキー ・ラダーゲッター ・バグゴ ・フープディスクゲッター ※内容は年度により異なる
平成26(2014)	2	72	
平成27(2015)	2	93	
平成28(2016)	2	97	
平成29(2017)	2	91	
平成30(2018)	2	103	
令和元(2019)	2	88	

※令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止



▲障害者スポーツ体験会（ラケットテニス）



▲障害者スポーツ体験会（吹き矢）

## ② 障害者ボッチャ大会に向けた交流会

東京2020大会開催を契機としたパラスポーツの盛り上げりを継続・発展させ、さらなる障害者スポーツの推進を図るため、障害のある方を対象として、令和元（2019）年度から障害者ボッチャ大会に向けた交流会及び事前練習会を実施している。

場所：区役所8階 大会議室

### 開催実績

開催年度	実施回数	延べ参加人数	実施内容
令和元（2019）	2	85	事前練習

※令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止



▲事前練習会

## エ キンボールスポーツワールドカップ開催に伴う区立小学校との交流

平成29（2017）年10月31日（火）から11月5日（日）まで、総合スポーツセンターでキンボールスポーツの世界大会が日本で初めて開催された。大会に先立ち、10月30日（月）には、各国代表選手団が区立16小学校を訪問し、歓迎セレモニーやキンボールスポーツによる交流を行った。

交流日：平成29（2017）年10月30日（月）

会場：総合スポーツセンター、各小学校

※改築中の城東小学校・阪本小学校は総合スポーツセンターで交流

内容：選手団の歓迎セレモニー、キンボールスポーツのデモンストレーション・エキシビジョンマッチ、ふれあい給食、送迎セレモニー、折り紙・書写など日本文化体験等



▲キンボールスポーツ体験



▲キンボールスポーツ体験



▲ふれあい給食



▲児童による踊りの披露

### 3 「国際教育・交流」の取組

世界中から多くの人々が集う東京2020大会を契機に、障害の有無、国籍、文化の違いなどにかかわらず、あらゆる人々がお互いの人権を尊重しあい、力を合わせて生活する共生社会を実現していくとともに、国際社会に貢献できる人材を育成していくため、オリンピック・パラリンピック教育の推進、区民と選手・大会関係者等との交流機会の創出、平和意識の普及啓発などに取り組んだ。

#### 主な取組

##### ア 中央区オリンピック・パラリンピック教育の推進

東京2020大会の開催及び本区への選手村の建設などを踏まえ、子どもたちに人生の糧となるよう掛け替えのないレガシーを心と体に残すため、中央区オリンピック・パラリンピック教育を「改訂中央区教育振興基本計画」(平成27(2015)年3月)の新たな基本施策に位置付け、全ての区立小中学校・幼稚園において、以下の主要事業を中心に平成27(2015)年度から推進してきた。

大会後は、これまでの取組の結果を踏まえ、教育的効果が高く、継続できる取組を学校・幼稚園が選択し、「学校・幼稚園2020レガシー」として各学校・幼稚園の特色ある教育活動と位置付け、大会後も着実に展開していく予定である。



① オリンピック・パラリンピック学習

保健体育科や社会科、総合的な学習の時間などにおいて、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念、オリンピック憲章などに関する学習を行った。

また、オリンピック・パラリンピックに関わる多様な教材を活用し、国際的な視点で積極的にコミュニケーションを図る態度を育成した。

<取組例>

学校園名：晴海幼稚園・月島第三小学校

学 年：4歳児と第1学年

実施時期：令和2(2020)年12月実施

内 容：園児・児童がペアとなり、学校、幼稚園周辺の歩道のごみ拾いを行う。

成 果：自分の住んでいる街をきれいにしようとする気持ちをもつことができた。



▲学校、幼稚園周辺のごみ拾いをする園児・児童

学校園名：城東小学校

学 年：第3学年

実施時期：令和3(2021)年1月

内 容：南極の自然や動物について、観測隊同行者の話や現地の動画をを通して知り、地球環境を大切にしようとする態度を養う。

成 果：地球では多様な命が育まれていることを知り、地球の環境保全について意識を高めることができた。



▲観測隊同行者から南極の自然や動物について学ぶ

学校園名：京橋築地小学校

学 年：第4学年

実施時期：令和2(2020)年10月

内 容：東京都下水道局職員を招聘し、下水道の仕組みや環境の守り方について知る。

成 果：水再生センターで汚水を浄化するしくみを、実験を通して学んだ。



▲汚水浄化の実験から下水道の仕組みなどを学ぶ児童

## ② 中央区版「一校一国運動」を通じた学習

東京都教育委員会と連携しながら、全小中学校・幼稚園が主体性と創意工夫を発揮し、オリンピック・パラリンピックに関わる国・地域に対する応援活動やその文化・歴史・言語などを学習するとともに、交流も含めた活動に取り組んだ。各校・園のメイン交流国（144、145ページ参照）との直接交流を通じて一層の国際感覚の醸成を図った。

### <取組例>

学校園名：有馬小学校

学 年：第5学年

実施時期：令和2(2020)年10月

内 容：カタール大使館職員を招聘し、カタール国の文化や貿易、気候など幅広い内容について学ぶ。

成 果：カタール国の文化や伝統に興味を広げるとともに、日本とカタールの様々な分野でのつながりの深さを実感することができた。



▲カタール大使館職員からカタールの文化や伝統等について学ぶ

学校園名：月島幼稚園

学 年：3、4、5歳児

実施時期：令和2(2020)年11月

内 容：東京外国語大学インドネシア舞踊部を招聘し、インドネシア舞踊を観たり、一緒に踊ったりする。

成 果：インドネシアの文化や伝統について話を聞いたり、踊りを踊ることで、親しみの気持ちをもつことにつながった。



▲インドネシア舞踊の体験

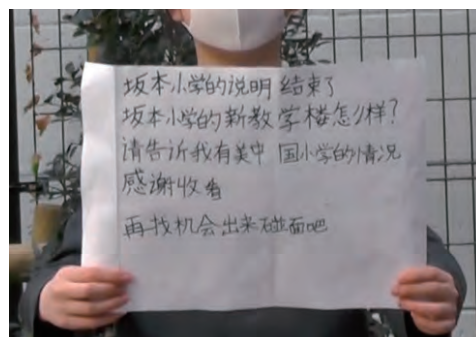
学校園名：阪本小学校

学 年：第4学年

実施時期：令和3(2021)年2月

内 容：中国の児童に向けて、校舎の様子や邦楽の演奏を紹介するビデオレターを作成する。

成 果：自分の学校や日本の良さについて伝えようとする思いをもつことができた。メッセージを中国語で書いたことで、興味を高め、理解を深めることができた。



▲中国語で学校の様子や日本の良さについてメッセージを送る

③ ハートフルスポーツ（共生社会に貢献する態度とボランティア精神の育成）

パラリンピック競技や障害者スポーツなどの学習や体験を通して、共生社会の一員としての態度を身に付けるとともに、東京2020大会を契機にボランティア精神の醸成を図るため、主体的にボランティア活動を実施し、積極的に社会に貢献する心の育成を図った。

<取組例>

学校園名：中央小学校

学 年：第4学年

実施時期：令和2(2020)年10月

内 容：パラリンピアン動画視聴やボッチャ体験を通して、心のバリアフリーについて学ぶ。

成 果：パラリンピックや障害者スポーツへの関心を高め、障害者理解へつながった。



▲ボッチャ体験を通して心のバリアフリーを学ぶ

学校園名：京橋朝海幼稚園

学 年：3、4、5歳児

実施時期：令和2(2020)年10月

内 容：手話教室（身近な言葉や歌等の手話を学ぶ。）

成 果：耳の聞こえない方とコミュニケーションをとる手段として手話があることを知った。また、園児にとって馴染みのある歌や言葉を手話で学び親しむことができた。



▲手話を体験する園児

学校園名：佃中学校

学 年：有志

実施時期：令和2(2020)年10月～11月

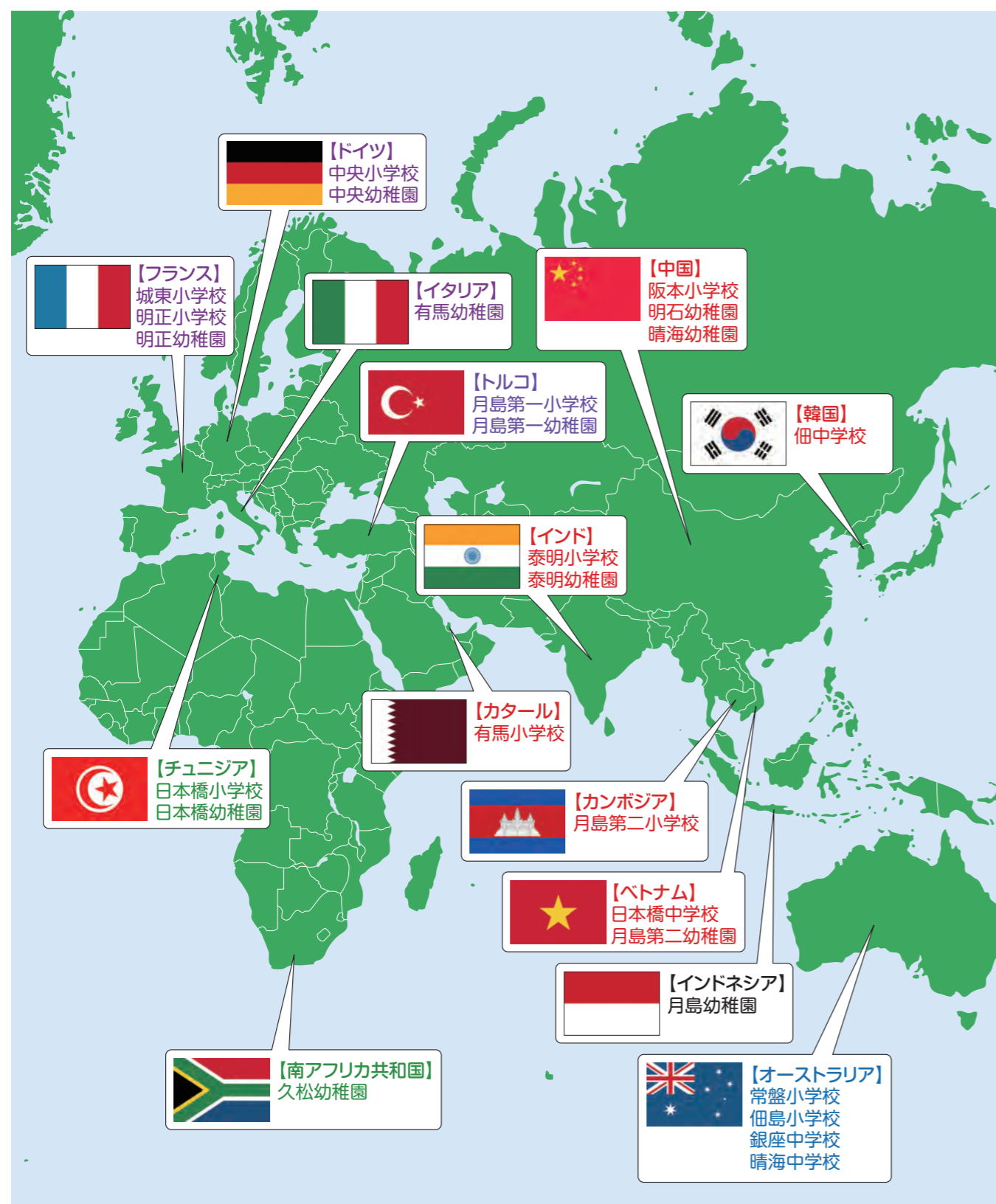
内 容：花を咲かせようプロジェクト（佃中学校周辺の景観をより良くするために花の苗や球根を植える。）

成 果：自ら積極的に行動する姿勢を育てることができた。



▲学校の前に花を植える生徒

中央区版「一校一國運動」メイン交流国一覧



#### ④ 体力向上

教育活動の創意工夫により、園児・児童・生徒一人一人の発達段階に応じた体力や技術の向上に取り組むとともに、フェアプレー精神や他者の尊重、努力する大切さなど心身の調和の取れた人間性の育成に取り組んだ。

<取組例>

学校園名：明石幼稚園

学 年：4、5歳児

実施時期：令和2(2020)年10月(4歳)、12月(5歳)

内 容：講師を招聘し、体の使い方を知り、様々な運動遊びを楽しみきっかけとする。

成 果：ボールを投げるコツを学び、ボール遊びの楽しさを感じ、ドッジボール遊びへとつながった。



▲ドッジボール遊びを楽しむ園児

学校園名：明正小学校

学 年：第3、4学年

実施時期：令和2(2020)年11月～12月、  
令和3(2021)年2月～3月

内 容：タグラグビー教室  
中央区ラグビーフットボール協会の方を招聘し、タグラグビーのルールやゲームの仕方を学ぶ。

成 果：動きを工夫したり、作戦を考えたりして、主体的に取り組む姿が見られた。



▲タグラグビーを体験する児童

学校園名：日本橋中学校

学 年：第1、2、3学年

実施時期：通年

内 容：保健体育科において毎時間、各単元に応じてコーディネーショントレーニングを行う。

成 果：ボールの操作力が身に付いた。



▲コーディネーショントレーニングでボール操作を行う生徒

## イ ブラジルオリンピック委員会との交流

### ① ブラジルオリンピック委員会との覚書の締結

本区とブラジルオリンピック委員会は、東京2020オリンピック時にブラジルオリンピック委員会が独自の拠点として、豊海小学校・豊海幼稚園の一部を使用することについて合意し、平成29(2017)年6月に他の自治体等(埼玉県、新座市、立教学院、相模原市、江東区、大田区)と合同で覚書締結式を行った。

覚書に基づき、本区は、ブラジルの選手たちが大会期間中に快適に過ごし、最高のコンディションで競技に臨むことができるよう支援するとともに、双方において選手等と区民との交流機会の創出に取り組んでいくことについて合意した。(東京2020オリンピック開催時のブラジルオリンピック委員会との交流については、45、46ページを参照)

締結日：平成29(2017)年6月25日(日)

使用施設：豊海小学校・豊海幼稚園の一部

使用用途：ファミリーアンドフレンズラウンジ(選手等が家族や友人と触れ合う憩いの場)や選手のウォームアップ、クールダウン等のトレーニングを行う場  
※新型コロナウイルス感染症対策のため、ファミリーアンドフレンズラウンジの設置は取りやめとなった。



▲覚書締結式で記念撮影をするブラジルオリンピック委員会委員長、JOC会長、中央区長(右から3番目)、他自治体首長等



▲ブラジルオリンピック委員会から贈られた記念プレート

### ② ハンドボール体験会

ブラジルハンドボールチームの来日機会を活用し、選手によるハンドボール体験会を開催した。

日時：平成30(2018)年7月5日(木)  
午後0時30分～3時

交流団体：ハンドボールチーム 18人、  
ブラジルオリンピック委員会 4人

参加者：豊海小学校児童(4、6年生 224人)

内容：4年生児童との交流給食  
管楽器クラブによる歓迎演奏会  
6年生児童とのハンドボール体験会



▲ハンドボール体験を通じて選手と交流する児童

③ トランスフォーマーコネクション

ブラジルと日本の文化交流を通じ、自国以外の文化を理解することで相手を尊重する気持ちを育むことを目的に、両国の子どもたちがメッセージビデオの交換を行う、トランスフォーマーコネクションを実施した。

期 間：令和元（2019）年7月以降、ブラジルの学校から豊海小学校にビデオを送ることで開始

交流団体：エマ ダヴィラ デ カミリス スクール（9～10歳）

参 加 者：豊海小学校児童有志

内 容：ブラジルオリンピック委員会が設定した両校共通のテーマ「地理と歴史」などに関するメッセージビデオを作成し、相互にビデオのやり取りを行った。

④ ブラジリアン・ユース・スクール・ゲームズ2019への中学生の派遣

ブラジル国内で開催されるブラジリアン・ユース・スクール・ゲームズ2019に招待され、本区の中学生2人が12～14歳の部の水泳競技に参加した。

中学生は、競技に参加しただけでなく、ブラジルの生徒に日本の伝統文化である折り鶴の折り方を教えたり、ユニフォーム交換を行うなど、言葉は通じなくともジェスチャーなどを交え積極的に交流を図った。

日 程：令和元（2019）年11月16日（土）～11月30日（土）

場 所：ブラジル連邦共和国サンタ・カタリーナ州ブルメナウ市

主 催：ブラジルオリンピック委員会

参 加 者：晴海中学校2年（当時）

後藤 優斗さん

日本橋中学校2年（当時）

熊谷 奈津季さん

50m・100m平泳ぎ 金メダル、  
混合4×50mメドレーリレー  
銅メダル



▲ブラジリアン・ユース・スクール・ゲームズの様子

ウ オーストラリアパラリンピック委員会との交流

① オーストラリアパラリンピック委員会との覚書の締結

本区とオーストラリアパラリンピック委員会は、東京2020パラリンピック時にオーストラリアパラリンピック委員会が独自の拠点として晴海中学校の一部を使用することについて合意し、平成31（2019）年4月に覚書締結式を行った。

覚書に基づき、本区は、オーストラリアの選手たちが大会期間中に快適に過ごし、最高のコンディションで競技に臨むことができるよう支援するとともに、双方において選手等と区民との交流機会の創出に取り組んでいくことについて合意した。

当日は、オーストラリアパラリンピック委員会から、本区の姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市の生徒が作成した作品「東京におけるオーストラリア人アスリート」が寄贈された。（東京2020パラリンピック開催時のオーストラリアパラリンピック委員会との交流については、61、62ページを参照）

締 結 日：平成31（2019）年4月2日（火）

使用施設：晴海中学校の一部

使用用途：ファミリーアンドフレンズラウンジ（選手等が家族や友人と触れ合う憩いの場）や、選手用ユニフォームの保管、受け渡し等の場所

※新型コロナウイルス感染症対策のため、ファミリーアンドフレンズラウンジの設置は取りやめとなった。



▲覚書締結式で記念撮影をするオーストラリアパラリンピック委員会委員長、中央区長

### ② ゴールボール体験会

学校施設の使用に関する覚書締結式終了後に、オーストラリアパラリンピック委員会によるゴールボール体験会を晴海中学校で開催した。

日 時：平成31(2019)年4月2日(火)  
午後3時～4時

交流団体：オーストラリアパラリンピック委員会 6人

参加者：晴海中学校生徒(2年生16人)

内 容：ゴールボールの体験会  
同委員会から中学校へゴールボールセットの寄贈



▲ゴールボールを通じて委員会スタッフと交流する生徒

### ③ 卓球体験会

オーストラリアパラリンピック委員会卓球チームの来日の機会を活用し、選手による卓球体験会を開催した。

日 時：令和元(2019)年7月30日  
(火) 午後3時～4時

交流団体：オーストラリアパラリンピック委員会卓球選手3人、コーチ1人

参加者：晴海中学校生徒(10人)

内 容：選手によるデモンストレーション

選手と生徒と一緒にプレー



▲卓球体験を通じて選手と交流する生徒



#### ④ 英語授業

日 時：令和元（2019）年10月23日  
（水）午前10時15分～10時55分

交流団体：オーストラリアパラリンピック委員会  
選手村外コーディネーター  
Megan Fritschさん

参加者：晴海中学校生徒（2年生32人）  
内容：英語でパラリンピックを学ぶ授業



▲パラリンピックについてスタッフから英語で学ぶ

#### ⑤ オーストラリアパラアスリートとのウェブ交流会

東京2020大会の延期と新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初晴海中学校で予定されていたオーストラリアパラリンピック委員会との交流事業をオンラインで実施し、選手と生徒によるエールの交換を行った。

日 時：令和2（2020）年12月17日（木）  
午後2時25分～3時15分

交流団体：オーストラリアパラリンピック委員会  
Melissa Tapper選手（卓球）

参加者：晴海中学校生徒（2年生）  
内容：選手と生徒によるオンラインでの交流会の実施



▲ウェブ交流会で、生徒にメッセージを送るMelissa Tapper選手

### 【中央区に働きかけのあった他の国々】

本区には、各国のNOC、NPC、競技連盟から、選手村至近にある区立学校などの公共施設を大会期間中の活動拠点として設けたいとの相談があり、施設の見学や貸出条件、利用形態などについて調整・交渉を行った。

英国オリンピック委員会、オーストラリアオリンピック委員会は選手等のサポート拠点として、カナダオリンピック委員会は選手のユニフォーム保管・管理等の拠点として、スロベニアオリンピック委員会、チェコオリンピック委員会はナショナルハウスとして、その他、チュニジアオリンピック委員会やドイツ、韓国、中国からも施設の借用について問合せを受け、本区として積極的に各国を受入れ、支援していくため、交渉を進めた。

しかしながら、ヨーロッパ諸国等運営上の時差の問題、調理を伴う食事や酒類の提供など食文化の相違、靴の着脱など生活文化の相違など、公共施設の貸出しに当たって合意することが難しく、実現には至らなかった。

## エ 小学生による大会マスコットの投票

東京2020大会のマスコットは、3案の中から、全国の小学校、特別支援学校小学部、海外の日本人学校のクラスごとに1票を投票する方式で決定された。各クラスで大会理念やマスコットの役割などを学び、子どもたちが話し合いを重ねてクラスの1票を決めた。さまざまな意見を聞いて選ぶ過程を通じ、子どもたちが多様性の尊重を学ぶ機会となった。

投票の結果、総投票数205,755票中109,041票を獲得したミライトワとソメイティが選ばれた（マスコットの名前は後日決定）。

本区では、区立小学校の全学級が参加した。

投票期間：平成29（2017）年12月11日（月）～平成30（2018）年2月22日（木）

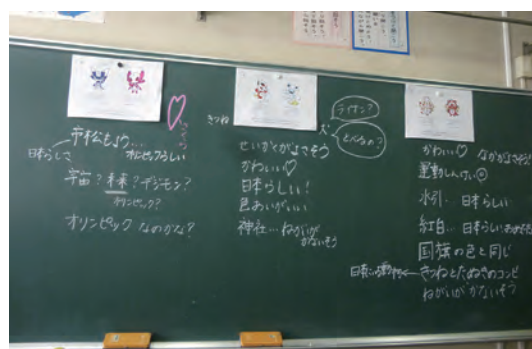
結果発表：平成30（2018）年2月28日（水）

参加クラス数：全国 205,755クラス

うち 中央区立小学校（特別支援学級を含む） 218学級  
 中央区立宇佐美学園 4学級  
 合計 222学級



▲小学校に掲出された東京2020マスコット投票宣言横断幕



▲マスコット3案に子どもたちの素直な意見が出された（京橋築地小学校）

### <最終候補のマスコットたち>

マスコット候補 ア（ミライトワとソメイティ） 109,041票獲得

**【オリンピックマスコット】**  
 伝統と近未来がひとつになった温故知新なキャラクター。  
 伝統を重んじる古風な面と最先端の情報に精通する鋭い面をあわせ持っています。  
 正義感が強く運動神経ハツグンで、どんな場所にも瞬間移動できます。

**【パラリンピックマスコット】**  
 桜の触覚と超能力を持つクールなキャラクター。  
 普段は物静かなのに、いざとなるとパワフル。  
 凛とした内面の強さと自然を愛する優しさがあり、超能力を使って石や風と話したり、見るだけで物を動かせます。

**【オリンピックマスコットとパラリンピックマスコットの関係性】**  
 性格は正反対ですが、お互いを尊重しあい、大の仲良しです。おもてなしの精神は負けず劣らず。  
 みんなを応援するためにベストを尽くしています。

マスコット候補 イ 61,423票獲得



**[ オリンピックマスコット ]**  
日本を暖める炎と大地から生まれたキャラクター。モデルは福を呼ぶ招き猫や神社のキツネです。足が速く、走れば谷を作り、川が流れるほど。普段は駆け回っているけれど、縁側でお昼寝するのも大好きです。日本のお祭ならではの熱気や活気を伝え、炎の尻尾で人々に元気を与えます。

**[ パラリンピックマスコット ]**  
日本に四季を呼ぶ風と空から生まれたキャラクター。モデルは神社の守り神である狛犬です。雲のたてがみは喜怒哀楽により、桜吹雪や雪、紅葉や雷とともに季節の風を吹かせます。時には春風を送り、枯れ木に花を咲かせることも。軽い身体で大空を飛びながら四季の魅力を伝えています。

**[ オリンピックマスコットとパラリンピックマスコットの関係性 ]**  
生まれや見た目、性格こそ違えどもふたりは大親友。そして良きライバル。日本の大地や大空を舞台に競い合い、お互いを高めあっています。

マスコット候補 ウ 35,291票獲得



**[ オリンピックマスコット ]**  
日本昔話の世界から飛び出してきたキツネのキャラクター。キツネに日本古来の勾玉をあしらって生まれました。すばしっこくて、スポーツ万能。人懐っこい性格でリーダータイプです。風の精霊と一緒に、選手や観客のみなさんを応援します。

**[ パラリンピックマスコット ]**  
頭の上の葉っぱを使い、自由に変身するタヌキのキャラクター。日本古来の化けるタヌキから生まれました。おっとりしているのに、運動神経がよく、まわりを楽しませるムードメーカーです。森の精霊と一緒に、選手や観客のみなさんを盛り上げます。

**[ オリンピックマスコットとパラリンピックマスコットの関係性 ]**  
おめでたい紅白カラーに金の水引を背負ったキツネとタヌキ。仲が良く、お互いの得意分野を理解し、いつも励ましあっています。

## オ 東京2020算数ドリル

東京2020組織委員会は、子どもたちがスポーツの魅力を感じながら算数を学ぶことができるよう、東京2020大会の全55競技を取り入れた問題で構成した「東京2020算数ドリル」を作成した。A巻とB巻で構成され、A巻はオリンピック競技、B巻はパラリンピックに関連した問題が掲載されている。

### ① 概要

構成：東京2020算数ドリル 2019年度版  
A巻(オリンピック版) B巻(パラリンピック版)

対 象：都内全公立小学校 1273校 第6学年（児童約10万人）  
 制 作：東京2020算数ドリル実行委員会（トヨタ自動車、キヤノン、JXTG エネルギー、NTTドコモ、富士通、明治、凸版印刷、東京2020組織委員会）  
 問題制作：東京2020算数ドリル作成委員会（都内の有志の教員7人で構成）  
 実践学習会：都内公立小学校（15校）の第6学年を対象に、平成31（2019）年4月から令和2（2020）年3月までの間に、オリンピックとパラリンピックを中心に派遣し、東京2020算数ドリルを各学校の授業に活用し、実技を交えた「体育のような算数授業」を開催

## ② 本区での実践学習会

元バレーボール選手の大竹秀之氏、大山加奈氏が参加し、身長は何倍の高さまでジャンプできるかなど、体を動かしながら算数の学習をし、子どもたちにエールを送った。

日 時：令和元（2019）年5月13日（月） 午前10時45分～午後0時20分  
 場 所：明正小学校  
 講 師：大竹 秀之 氏（オリンピック／バレーボール）  
 大山 加奈 氏（オリンピック／バレーボール）  
 参 加 者：明正小学校児童（6年生38人）  
 内 容：3時限目 実践学習会（バレーボール）  
 4時限目 食育座学（株式会社 明治 Presents）

## カ 平和モニュメントの設置

「スポーツと平和の祭典」である東京2020大会の開催を契機として、本区から世界に平和の尊さ、大切さを発信するとともに、平和意識のさらなる普及・啓発を図るため、選手村が整備される晴海地区に平和モニュメントを設置した。

設 置 日：令和2（2020）年7月12日（日）  
 設置場所：晴海第三公園  
 テ ー マ：オリンピック・パラリンピックと平和  
 制 作：区立小学校全16校の児童が作成した原画をもとに、障害のある方とNPO法人が協力して「モザイク平板」に加工し、台座に取り付け



▲晴海第三公園に設置された平和モニュメント（左右写真）



## キ 児童館まつり「わいわい子どもデー～それいけ つきりんぴっく～」

毎年5月5日の「こどもの日」から始まる1週間の児童福祉週間に合わせて行われる児童館まつりにおいて、月島地域では、地域でオリンピックへの気運を高めるため、平成28（2016）年度から令和元（2019）年度まで「わいわい子どもデー～それいけ つきりんぴっく～」をテーマに開催した。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2、3年度は開催中止

## 4 「観光・文化」の取組

本区は、日本を代表するショッピング街「銀座」、老舗が集まり日本文化を感じられる「日本橋」、食文化の拠点「築地」など、外国人旅行者の人気スポットを多く抱えている。東京2020大会の開催に向けては、より一層の国内外からの訪問客の増加が見込まれていた。

そこで、世界に向けて本区の観光・文化の魅力を積極的に発信するとともに、本区を訪れる訪日外国人旅行者等が、銀座・日本橋・築地のみならず本区全域を迷わず快適に回遊し、中央区が持つ魅力を十分に堪能できるよう、地域とともに受入環境の整備を図った。

また、大会時には、外国人旅行者等と交流したいとの意欲がある区民の声に応じていくため、ボランティアの育成やおもてなし力の強化などに取り組んだ。

### 主な取組

#### ア 中央区観光情報センター

平成28(2016)年11月、国内外の旅行者に対し、区の魅力を効果的に伝え、広がりのある回遊性を確保するため、観光に関する情報やサービスなどを提供する観光拠点を開設した。

場 所：京橋2-2-1京橋エドグラン 地下1階・1階

営 業 日：原則として無休 午前9時～午後9時

サービス：●観光案内(対面・多言語対応)

●観光情報の検索(タッチパネル端末、バーチャルマップ等)

●セルフプランニングスペース、物販コーナー、休憩・PRスペース、フリーWi-Fiなど

運 営：中央区観光協会

連携体制：他の区内観光案内施設と連携し、観光情報を集約・共有



▲中央区観光情報センター



▲G Info(運営：全銀座会)



▲ぶらっと築地(運営：NPO法人築地食のまちづくり協議会)



▲日本橋観光案内所(運営：日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会)

### イ 中央区観光情報公式サイト「Central Tokyo for Tourism」

平成28(2016)年11月、外国人旅行者をメインターゲットとした多言語対応ウェブサイトを開設し、おすすめの街歩きモデルコースや、季節やテーマに沿った特集情報などの観光情報を発信している。



▲Central Tokyo for Tourism トップページ

### ウ 観光案内標識

平成30(2018)年3月、東京都が指定する観光案内インフラの重点整備エリア内にある中央通り沿いに多言語表記の観光案内標識を新設し、既存の標識についても表記の統一を図るため盤面を更新した。

新 設：18基  
更 新：16基



▲観光案内標識(京橋二丁目)

### エ 総合案内板

大会開催に伴う国外の来街者増加を見据え、区内全域に設置している、住居表示や公共施設などを表示した総合案内板を、多言語表記に対応した盤面に更新した。

更新実績：平成30(2018)年度 25基  
令和元(2019)年度 24基  
令和2(2020)年度 35基



▲総合案内板(新川二丁目)

### オ フリーWi-Fi「Chuo City Free Wi-Fi」

国内外からの観光客等が情報を得るための環境を整備するため、他の自治体が提供するサービスとの相互認証機能を持った無料公衆無線LAN(フリーWi-Fi)サービスの提供を、平成28(2016)年11月から順次開始した。

提供場所：中央区観光情報センター  
観光案内標識周辺(12カ所)  
公衆電話ボックス(2カ所)  
築地魚河岸小田原橋棟  
コミュニティバス「江戸バス」



▲エリアサイン

## カ 中央区観光プロモーション映像

平成30(2018)年4月、世界に向けて本区の多彩な魅力を積極的に発信し、訪問先としての興味喚起を図るため、中央区の観光プロモーション映像を制作した。

動画サイトなどのインターネット配信や、観光情報センターなどの観光関連施設、江戸バス車内などでの放映に活用している。

構成：漢字一文字をテーマとした5編と総合ダイジェスト版の計6編

- 歩<ARUKU>編 ~ Walk in Central Tokyo ~
- 遊<ASOBU>編 ~ Have fantastic experiences ~
- 食<TABERU>編 ~ Most delicious & beautiful food in the world ~
- 彩<IRODORI>編 ~ Great scenes of Central Tokyo ~
- 人<HITO>編 ~ Smiles and kindness from "Omotenashi" ~
- ダイジェストムービー

時間：3分版、1.5分版、15秒版の3パターン

言語：日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字/简体字)の計4言語対応



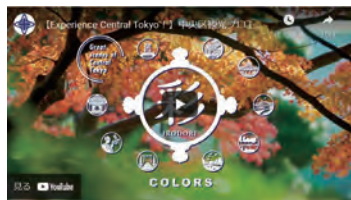
▲歩<ARUKU>編



▲遊<ASOBU>編



▲食<TABERU>編



▲彩<IRODORI>編



▲人<HITO>編



▲ダイジェストムービー

## キ 中央区伝統工芸品産業PR冊子の配布

令和元(2019)年11月、外国人旅行者を中心とした来街者に区内の伝統工芸品産業を周知するため、PR冊子を作成した。

配布場所：区内観光案内所、冊子掲載店舗

内 容：区内伝統工芸品10品目を外国人の視点から紹介

作成部数：英語版14,000部、日本語版1,000部

## ク 水陸両用バス「スカイダック銀座」

水域と陸域をシームレスに移動できる水陸両用バスを新たな都市観光のツールとして位置付け、本区と湾岸エリアを結ぶ新たな運行ルート開設により更なる観光振興を図るため、社会実験の一環として、平成30(2018)年10月に「スカイダック銀座」の運行を開始した。

実施事業者：日の丸自動車興業株式会社

運行ルート：●Aコース(金・土曜日、約1.5時間)

GINZASIX→晴海通り→豊洲(着水・遊覧・上陸)→レインボーブリッジ  
→GINZASIX

● Bコース（日曜日、約 1.5 時間）

GINZASIX → 晴海通り → お台場（着水・遊覧・上陸） → レインボーブリッジ → GINZASIX

※各コース1日に3便～4便



▲スカイダック銀座

ケ 中央区まちかど展示館における多言語対応

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心を育むため、平成24(2012)年2月から、区民自らが地域にある文化資源を発掘し、展示・公開する施設を「中央区まちかど展示館」として認定している。

大会に向けてまちかど展示館の情報発信における多言語化を進め、本区を訪れる外国人に対する認知度の向上を図った。

展示館：銀座・京橋地域 9施設  
日本橋地域 16施設  
月島地域 4施設

運営：中央区まちかど展示館運営協議会

活用の取組：ウェブサイトの展示館紹介における多言語の音声化、紹介動画への字幕追加など（英語・中国語・韓国語対応）

季刊誌の発行

イベントの開催

スタンプラリーの実施



▲ふるさと晴海資料展示館



▲季刊誌



▲多言語対応の紹介動画



## コ 中央区民カレッジでのおもてなしの英会話講座・研修

区民を対象とした生涯学習の場である中央区民カレッジでは、大会時に世界中から訪れる来街者へのおもてなしを強化するため、英会話講座や登録ボランティアへの英会話研修を実施した。

- 内 容：●英語で日本や本区を紹介する英会話講座（平成22（2010）年度～）  
●区民ボランティアに対するまち案内英会話研修（平成27（2015）年度～）

## サ 歴史・文化ガイドブック

外国人を含めた観光客や区民に対して本区の歴史や文化の魅力伝えるため、中央区歴史・文化ガイドブックを令和2（2020）年9月に作成した。

- 内 容：区内の文化財、記念碑、文化施設などを地図や写真などで紹介  
（全42ページ）

言 語：2カ国語（日・英）で作成

配布場所：郷土天文館、区役所（まごころステーション）、京橋図書館、日本橋図書館、月島図書館、日本橋特別出張所、月島特別出張所、中央区観光協会、観光情報センター、日本橋観光案内所

作成部数：13,000部



▲歴史・文化ガイドブック

## 5 「安全・安心」の取組

大会開催時、本区には、選手・大会関係者はもとより、国内外からの多くの観戦客が訪れることが想定されたことから、区民の生命・健康・財産の確保、区民生活と都市活動の維持に万全を期して大会を迎える必要があった。

そのため、関係機関・団体との連携により、来街者の安全・安心も含めて現行の取組を充実・強化し、地域の防犯力、防災力、危機管理能力等の向上を図った。

### 主な取組

#### ア 地域団体に対する防犯設備整備費助成

犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現に寄与するため、地域団体等が行う防犯設備の整備費用の一部を助成した。東京2020大会開催を見据え、平成29（2017）年度から令和元（2019）年度までの3カ年においては、地域見守り活動支援事業（東京都との連携事業）を充実させ、助成率を5/6から11/12に引き上げた。

助成実績：40団体・117,589,000円（平成29（2017）年度～令和元（2019）年度）

### イ 防災区民組織に対する資器材供与

平成27(2015)年度から平成29(2017)年度までの3カ年において、東京2020大会を見据え地域防災力の向上を図るため、防災区民組織に対して、希望調査に基づき発電機や投光器等各種防災資器材を重点的かつ計画的に供与した。

供与組織数：71 組織

### ウ 食の安全強化・感染症対策

東京2020大会では、世界から多くの選手・大会関係者、観戦客等の来訪が想定されたことから、区内の飲食店に対して、食の安全・安心への取組を強化した。

#### ① 保健所による取組

飲食店の調理従事者等に対して衛生管理講習会を実施するほか、衛生管理ファイル等を配布し、日ごろからの食中毒予防を奨励

食品衛生講習会実施回数：19回(令和2(2020)年度)

衛生管理ファイル配布件数：約10,300件(令和2(2020)年度)

#### ② 飲食店への啓発

飲食店等の自主組織である食品衛生協会の自治指導員の協力を得て、飲食店の細菌簡易検査等を実施し衛生管理の強化を促進。検査を実施した飲食店には、より一層食中毒防止に取り組むよう中心温度計(加熱されているかを確認するために食品やスープなどの中心温度を測るための温度計)を配布

細菌等検査総数：581件(令和3(2021)年度)

温度計配布件数：400件(令和3(2021)年度)

#### ③ 感染症感染拡大防止に向けた取組への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組を支援するため、料飲関係団体等と「新型コロナウイルス感染症拡大防止活動の協力に関する協定」を締結し、各団体に交通信号の青信号(安全)の意味で「SAFETY CHUO」マークを交付

団体名	締結日
銀座社交料飲協会	令和2(2020)年8月12日
銀座料理飲食業組合連合会	令和2(2020)年8月19日
築地食のまちづくり協議会	令和2(2020)年8月31日
日本橋料理飲食業組合	令和2(2020)年8月31日
日本橋久松飲食業組合	令和2(2020)年8月31日
月島飲食業連合会	令和2(2020)年8月31日
中央区商店街連合会	令和2(2020)年10月9日



▲感染症対策を講じている店舗に掲示される「SAFETY CHUO」マーク

## エ 受動喫煙防止対策（公衆喫煙場所の設置）

受動喫煙に関する対策の強化・充実を図るため、公衆喫煙場所の新設・更新を行うとともに、民間公衆喫煙場所の設置及び維持管理を行う事業者に対して助成金を交付した。

令和2（2020）年度実績

新設：1件

更新：5件

助成：4件・21,057,000円



▲築地川銀座公園指定喫煙場所

## オ 関係機関との連携

東京都では、世界から訪れるアスリートや大会関係者、観客、都民の安全・安心を確保するとともに、大会期間中における都民生活と社会機能の維持、大会運営を脅かす事案への対処を目的として、「治安対策」「サイバーセキュリティ」「災害対策」「感染症対策」の4つの視点から各種事態を想定した対処要領を策定した。

本区においても、様々な事態に対応するため、オリンピック・パラリンピック担当部署をはじめとして危機管理や保健衛生担当部署等が東京都や東京2020組織委員会等関係機関と連携し、区民の安全・安心の確保に取り組んだ。

# 6 「まちづくり」の取組

誰もが住みやすく・訪れやすい都市環境の実現を図るため、大会後の将来を見据えた公共・公益施設の整備、公共交通機関の拡充、環境にやさしいスマートシティの実現に向けた取組、道路や公共施設のバリアフリー化及び公共サインの多言語化などの取組を進めた。

### 主な取組

#### ア バリアフリーの推進

##### ① 道路のバリアフリー化

東京2020大会開催に向け、競技会場（路上競技）や観光施設周辺における道路を対象に、歩道の拡幅や段差解消などを行い、連続的・面的な道路のバリアフリー化を進めた。

整備内容：京橋・日本橋地域 計15路線 約2.6km

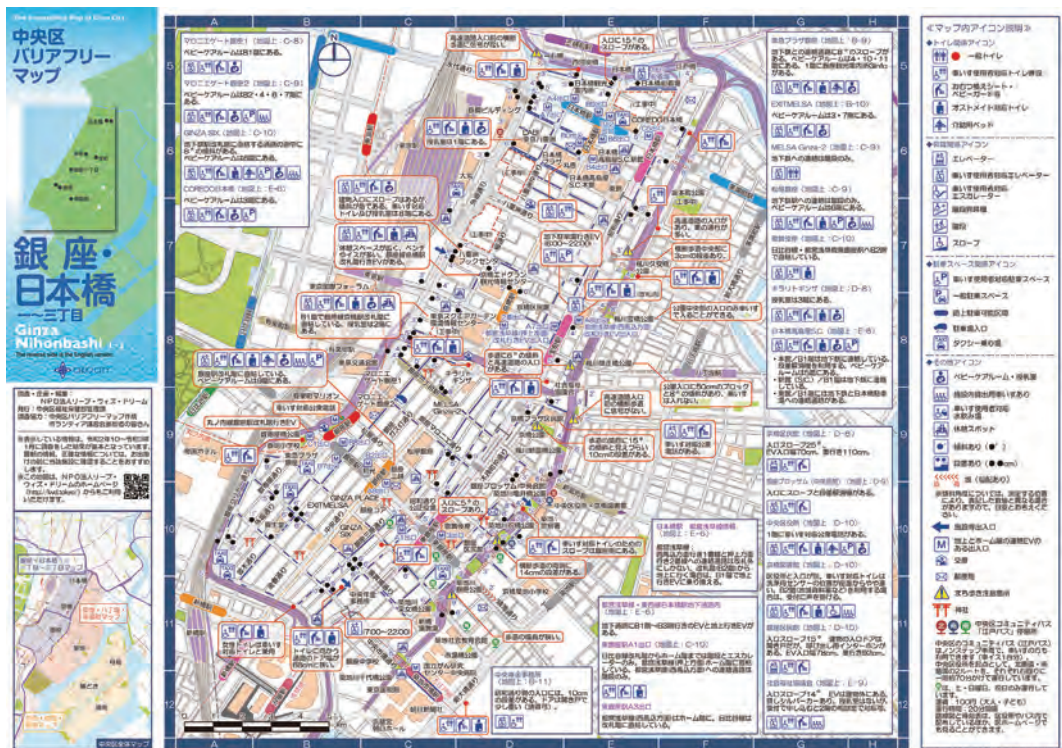
整備期間	路線	延長
平成29（2017）年度	6路線	1.0km
平成30（2018）年度	4路線	0.5km
令和元（2019）年度	5路線	1.1km

##### ② バリアフリーマップの作成

障害者や高齢者、子育て中の方、外国人などのまち歩きをサポートできるよう、区民ボランティアなどが中心となり、NPO法人リーブ・ウィズ・ドリームと協働してバリアフリーマップづくりを進めた。

また、バリアフリーマップ作成や更新の中心的な役割を担う人材を育成するため、ボランティア講習会も開催した。

年度	講習会実施回数	参加者数	マップ作成エリア
平成30(2018)年度	2	35	銀座・日本橋一～三丁目
令和元(2019)年度	3	56	築地・八丁堀・茅場町
令和2(2020)年度	2	29	月島・勝どき・晴海
令和3(2021)年度	3	25	小伝馬町・人形町・新川



▲バリアフリーマップ

### イ 環境対策型舗装

東京2020大会開催に向け、選手や観客の暑さ対策として、競技コースとなる道路や競技会場などの周辺道路、競技会場の周辺にある観光施設までの動線となる道路などを対象として、遮熱性舗装を整備した。

整備内容：八丁堀・築地・日本橋周辺 計3路線 約1.9km

整備期間	対象路線	延長
平成29(2017)年度～平成30(2018)年度	鍛冶橋通り(八丁堀周辺)	640m
平成29(2017)年度～令和元(2019)年度	中央市場通り(築地周辺)	410m
平成29(2017)年度～平成30(2018)年度	特別区道中日第6号(日本橋周辺)	840m

### ウ 自転車推奨ルート整備

東京2020大会の競技コースとなる道路や主要な観光施設の周辺において、自転車により安全に回遊できるよう、走行空間のネットワーク化を図る自転車推奨ルート（自転車ナビマークやナビライン、自転車歩行者道（視覚的分離））を整備した。

整備内容：八丁堀・築地・勝どき周辺 計3路線 約1.9km

整備期間	対象路線	延長
平成29(2017)年度～令和元(2019)年度	鍛冶橋通り（八丁堀周辺）	950m
	中央市場通り（築地周辺）	440m
	清澄通り（勝どき周辺）	470m

### エ 持続可能な社会への取組「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への協力

東京2020組織委員会主催により、不要になった携帯電話、パソコン、デジタルカメラ等の小型家電に含まれるリサイクル金属を活用して東京2020大会の入賞メダルを作る国民参加型プロジェクトが実施された。

本区もこのプロジェクトに参加し、小型家電の回収に協力した。区内では、リサイクルハウスかざぐるま、区役所本庁舎、中央清掃事務所と区内小・中学校（一部を除く）で回収を実施した。

多くの自治体、事業者等の協力により、東京2020大会で使用された約5,000個のメダルは、全て日本全国から回収したリサイクル金属で製作された。

回収期間：平成29(2017)年4月22日(土)～平成31(2019)年3月31日(日)

(粗大系小型家電は平成29(2017)年10月7日(土)から対象)

#### 区内回収量

小型家電回収量		資源化量		
		金	銀	銅
拠点回収	4,750kg	0.237kg	1.290kg	298.77kg
粗大	21,170kg	0.155kg	2.703kg	931.48kg
計	25,920kg	0.392kg	3.993kg	1,230.25kg

※資源化量は、認定事業者が実績に基づき回収比率により算出した参考値  
 ※端数処理のため合計額が一致しない場合がある



▲回収ボックス



▲リサイクル金属を活用して製作されたオリンピックメダル（左）とパラリンピックメダル（右）  
 (Photo by Tokyo 2020/Shugo TAKEMI)

### オ おもてなしロードの整備

大会に向けて、区は、選手村から銀座をつなぐ晴海通り及び銀座と日本橋を結ぶ中央通りを区内回遊の骨格となる「おもてなしロード」と位置付け、来街者などに快適な歩行環境を提供するため、通り沿いの公園や街角広場にフリー Wi-Fi アクセスポイントや暑さ対策の設備、花の装飾の整備を行った。

また、区内の各地域団体・民間企業は、大会会場周辺の観光客等が多く集まる注目度が高い地域において、先進技術等で暑さ対策する事業に係る経費を助成する東京都の「東京2020大会に向けた暑さ対策推進事業」を活用して、地域のクールエリア創出に取り組んだ。

#### おもてなしロードの休憩ポイントの状況

休憩ポイント	フリー Wi-Fi アクセスポイント	暑さ対策 (ミスト)	花の装飾
黎明橋公園	○	○	○
月島第二児童公園	○	○	—
築地魚河岸小田原橋棟	○	○	○
築地川銀座公園	○	○	○
三原橋街角広場	○	○	○
数寄屋橋公園	○	○	○

#### 地域団体・民間企業による暑さ対策設備

地域団体・民間企業名	場所	内容
一般社団法人銀座通連合会	数寄屋橋公園	微細ミスト及び微細ミスト付パラソル
名橋「日本橋」保存会	日本橋滝の広場	微細ミスト付パラソル
住友不動産株式会社	東京日本橋タワー 公開空地	微細ミスト (高木との組合せ)
京橋二丁目西地区市街地 再開発組合	京橋エドグラン 公開空地	フラクタル日よけ及び気化式冷風機
東京建物株式会社	東京スクエアガーデン 公開空地	微細ミスト及び減熱ベンチ
三井不動産株式会社	福德の森	微細ミスト・ファン付パラソル



▲黎明橋公園の花の装飾



▲三原橋街角広場のミスト



▲築地川銀座公園のミストと花の装飾



▲数寄屋橋公園のミスト付きパラソル



▲京橋エドグランのフラクタル日よけ



▲東京スクエアガーデンのミスト

## カ 交通基盤の整備等

晴海地区をはじめとする月島地域では、周辺の再開発と選手村跡地の住宅供給による急激な人口増加に伴う公共交通需要に対応するために、幹線道路の整備や、路線バスの拡充、BRTの運行、都心部と臨海副都心を結ぶ大量輸送機関である地下鉄の早期導入の検討などについて、東京都や関係機関に対し継続的な働きかけを行ってきた。

さらに、各事業の進捗状況を把握し、区の広報紙への情報掲載や地元説明に向けた調整などにより区民への周知を図った。

### ① 環状第2号線の整備

東京都は、臨海部と都心部を結ぶ交通・物流ネットワークの強化、並行する晴海通りの渋滞緩和など地域交通の円滑化、臨海地区の避難ルートの多重化による防災性の向上を目的に環状第2号線の整備を進めてきた。

しかし、豊洲への市場移転の延期決定に伴う環状第2号線の暫定開通時期の延期により、晴海通りをはじめとする周辺道路の渋滞発生など区民生活への影響が懸念されたことから、本区は、平成28(2016)年12月に環状第2号線の一部暫定開通を都知事に要望するなどの働きかけを行った。その結果、東京都は、晴海から豊洲間において選手村工事車両に限定して平成29(2017)年2月から通行を開始することとした。

平成30(2018)年10月の築地市場から豊洲新市場への引越しに当たっては、ターレー・フォークリフトも含め市場関係車両の移動に活用された。

平成30(2018)年11月には豊洲から築地までの区間を暫定開通し、令和2(2020)年3月には旧築地市場内の暫定迂回道路を切り替え、地上部道路として開通した。これにより、東京2020大会において、選手村と築地デポ及び競技会場等が結ばれ、スムーズな大会関係者の輸送につながった。

#### <環状第2号線施設見学会>

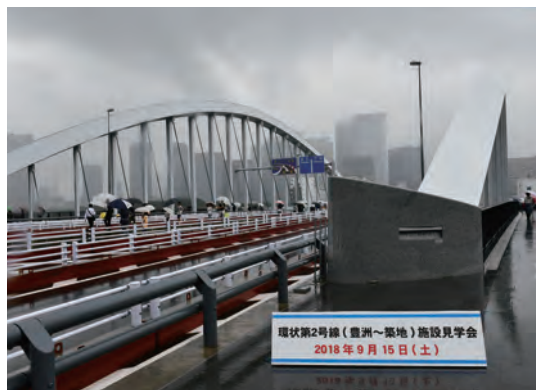
東京都は、暫定開通に先立ち、豊洲大橋から築地大橋までの区間において「環状第2号線施設見学会」を開催した。

開催日：平成30(2018)年9月15日(土) ※選手村オープンハウスと同時開催

場所：豊洲大橋(江東区豊洲六丁目)～築地大橋(中央区築地五丁目)約2km

対象者：誰でも参加可

来場者数：15,472人(延べ人数)



▲環状第2号線施設見学会(左右写真)

② BRT 運行の開始

東京都は、臨海地域における交通需要の増加に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として、都心と臨海副都心とを結ぶBRTを導入し、令和2(2020)年10月より晴海から虎ノ門までのプレ運行(一次・1系統)が開始された。今後、プレ運行(二次・3系統)を経て、環状第2号線本線トンネル開通や晴海地区の新たなまちびらきの状況等を踏まえ、本格運行が開始される予定である。

本区では、この間、東京都に対し、勝どき駅の混雑状況や月島・晴海地区の開発状況、豊洲新市場の開場に合わせ、運行ルートの検討や停留施設等の整備を進め、早期に運行を開始するよう要望した。あわせて、交通不便地域である晴海地区の交通環境の改善が早期に図られるよう、BRTの事業計画と適切に連携した都バスの拡充・再編なども要望した。



▲BRT 運行の様子



▲BRT 運行ルート (本格運行時)

③ 都営大江戸線勝どき駅改良工事

選手村の最寄り駅となった勝どき駅では、東京都が利用者の利便性・安全性向上と列車運行の定時性確保のため大規模改良工事を行い、分断されていたコンコースの一体化や、ホームや出入口、エスカレーターの増設などが行われた。

工事期間：平成23(2011)年度～令和2(2020)年度

工事内容：ホームの1面増設、地下1階コンコースの一体化、出入口・エスカレーター・トイレの増設



# 5 選手村整備・運営

## 1 全体概要・機能

選手村は、選手が自身のコンディションを整えるための生活拠点となる場所であり、居住者である選手及びチーム役員を収容し、全ての居住者に必要なサービスを提供すること、また、会議室や医務スペースなど、NOC/NPCが選手のサポートをするために必要なオフィス環境を提供することを目的として設置される。

今大会の選手村は、宿泊施設やメインダイニングホールなどの選手が生活する居住ゾーン、選手村の運営機能を集約した運営ゾーン、居住ゾーンでは不足する日常生活の必要機能を提供するビレッジプラザの3つのエリアで構成された。

所在地：中央区晴海四丁目、五丁目地内

オリンピック選手村開村期間：令和3(2021)年7月13日(火)～8月11日(水)(30日間)

パラリンピック選手村開村期間：令和3(2021)年8月17日(火)～9月8日(水)(23日間)

敷地面積：44ha



▲東京2020大会時の晴海五丁目地区(選手村周辺のイメージ)  
©東京都オリンピック・パラリンピック準備局  
※東京2020大会時点の恒久施設のみ描写したイメージであり、実際とは異なる。

### ア 施設概要

#### ① 宿泊棟(恒久施設)

- 14階から18階建ての宿泊施設全21棟
- オリンピック時18,000ベッド、パラリンピック時8,000ベッド
- NOC/NPCオフィス、居住者センターを設置

#### ② 複合施設(恒久施設)

- 3階建ての選手利便施設
- 診療所、ドーピング検査室、レクリエーション施設、フィットネスセンター、カジュアルダイニングなど、アスリート向けサービスの拠点となる施設を設置

#### ③ バス発着所(トランスポートモール)

- 各競技会場・練習会場等に専用バスで輸送するためのバス発着場(約50バス)



▲バス発着所(第16回輸送連絡調整会議資料より引用)

- ④ メインダイニングホール（仮施設）
  - 2階建ての選手利便施設
  - 選手が競技において最高のパフォーマンスを発揮できるよう、栄養管理や多様な食習慣等への配慮に主眼をおいた飲食を提供
  - 客席数はオリンピック時に3,000席、パラリンピック時に2,400席を用意
  - 24時間オープン



▲メインダイニングホールの外観  
(Photo by Tokyo 2020 / Uta MUKUO)



▲メインダイニングホールの内部  
(Photo by Tokyo 2020 / Uta MUKUO)

- ⑤ NOC / NPC サービスセンター（晴海客船ターミナルを利用）
  - 東京2020組織委員会とNOC / NPC間の連絡サービスを一体化し、円滑にするための拠点

- ⑥ 運営施設（晴海四丁目既存倉庫を利用）
  - 倉庫や事務室などの運営拠点

- ⑦ ビレッジプラザ（仮施設）
  - 認証を受けた大会関係者が訪れる平屋建ての施設
  - 開催都市の雰囲気を感じることができ、居住者が楽しみ、気分転換が可能となる施設
  - 日本の伝統・文化を体験できるよう国産木材を使用
  - 解体された木材は、各自治体の公共施設などでレガシーとして活用
  - 生活必需品や雑貨店などの店舗、カフェ、メディアセンターなどを設置
  - ユニフォームや競技備品（パラのみ）のリペアサービスを提供



▲東京2020大会公式グッズを扱う店舗  
(Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI)

- ⑧ メインエントリー
  - ビレッジプラザに隣接。選手村に來訪する大会関係者用の駐車場や乗降場を整備（バス約8台、乗用車約50台）

## イ 緑環境

東京都は、水と緑に親しみ、憩いと安らぎが感じられるスペースとして、ジョギング等ができる散策路（晴海四丁目側約450m、五丁目側約460m）や健康器具等を備えた晴海緑道公園（仮称）、大型遊具や海辺のテラス等を備えた晴海ふ頭公園を整備した。

## ウ 休戦ムラール・パラリンピックムラール

選手村ビレッジプラザにおいて、オリンピック期間中、大会参加者へオリンピック休戦の賛同を呼びかけるため、平和への祈りを込めてサインができる休戦ムラールが5基設置された。

また、パラリンピック期間中には、障害者の権利推進と持続可能な共生社会実現への願いを込めてサインができるパラリンピックムラールが3基設置された。



▲多くの選手たちが休戦ムラールにサインした  
(Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI)

## エ エネルギー事業

東京都は、東京2020大会後の選手村地区について、新技術の活用により、災害時の自立性の確立や、快適性とエコな暮らしの両立を図り、環境先進都市のモデルとなるまちづくりを推進するため、目指すべき将来像や施策の方向性、整備内容などについて「選手村地区エネルギー整備計画」（平成29(2017)年3月）を取りまとめた。併せて、計画を実現するため「選手村地区エネルギー事業実施方針」を公表し、平成29(2017)年6月に事業者の募集を行い、平成30(2018)年2月に民間事業者と基本協定を締結した。

東京2020大会期間中においても、水素の有用性を発信することを目的とした取組を行った。

<主な取組>

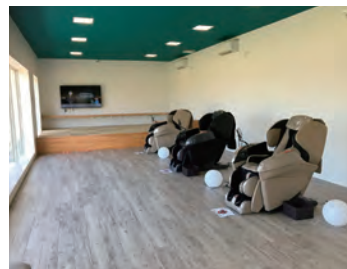
- 福島県で再生可能エネルギーから製造された水素を用いて発電し、宿泊棟の一部や、晴海ふ頭公園に設置した選手の休憩施設で活用
- 選手村に隣接して仮設の水素ステーションを整備し、大会期間中に24時間体制で車両へ水素を供給



▲仮設水素ステーション  
©東京都都市整備局



▲選手村休憩施設外観  
©東京都都市整備局



▲選手村休憩施設内観  
©東京都都市整備局

## 2 整備経過

東京都は、立候補ファイルの選手村計画をもとに大会後のまちづくりを見据えつつ、豊洲・晴海開発整備計画の改定など、選手村建設に向けた整備手法の検討を進めた。

平成28(2016)年4月から晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業として着手し、東京2020大会選手村の整備と、大会後のレガシーとなるまちづくりに取り組んできた。同年9月からは、晴海地域の工事に関連する機関が一堂に会し、まちづくりの円滑な推進のため必要な情報共有を行う場として「晴海地域工事連絡会」が開催されている。

また、晴海地区の様々な工事を一元的に把握し、工事関係者間の円滑な施工を推進するため「晴海五丁目地区工事受注者等連絡調整会議」を東京都が同年6月から概ね月1回開催し、本区も区工事発注者として会議に参加している。

基盤整備工事では、津波や高潮等による浸水を防ぐため、地盤を約2.5m高くする盛土工事を行うとともに、道路整備においては、上下水道やガスなどのライフライン施設や電線類を地中化し、防災性の向上や景観に配慮した整備を進めた。

大会時には選手用の居住棟として一時使用し、大会後は住宅となる建物等については、特定建築者制度を導入し、民間事業者の資金と開発ノウハウを活用して整備を進め、令和元(2019)年12月、基盤整備工事及び特定建築者工事の大会時に必要な部分の整備が完了した。

その後、東京2020組織委員会により、居住棟の内装工事及び選手村の仮設工作物が施工された。

### 晴海五丁目西地区整備の経過



▲平成28(2016)年12月



▲平成29(2017)年12月



▲平成30(2018)年12月



▲令和元(2019)年12月



### ウ 地元意見の反映

東京都及び東京2020組織委員会は、選手村及び選手村周辺の整備・運営について、関係する地区のまちづくり協議会等で事前説明を行い、地元の意見を聞きながら協議・調整を進めた。

平成29(2017)年4月には、東京都が、地元への選手村工事に関する情報提供・意見交換の場として「晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業工事情報報告・連絡会」を設置し、工事においても地元意見の反映に努めた(令和3(2021)年12月現在 計15回開催)。

また、区では、令和元(2019)年7月に銀座、築地、勝どき・豊海、晴海の4地区合同協議会を立ち上げ、大会時の交通対策や選手村のセキュリティなどに関する地域の課題について情報共有・意見の集約を行い、その解決に向けて東京都や東京2020組織委員会との調整を進めた。

### エ 工事車両対策

晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業では、基盤整備と施設建築物の工事が同時に行われるため、工事車両の通行による地元への影響を極力少なくするよう、東京都と特定建築者によるさまざまな対策が行われた。

<対策例>

- 毎月の工事車両通行台数の報告による工事間調整及び車両台数の軽減(東京2020組織委員会の工事においても実施)
- 建設発生土の海上輸送
- 供用開始前の環状第2号線における工事車両の通行



©Tokyo 2020

## オ 東京都による現場見学会及び選手村オープンハウスの開催

東京都は、地域住民等に対し、日頃の工事への理解や、大会気運を高めることを目的として、選手村整備の状況等、機会を捉えて紹介した。

### ① 選手村関連工事現場見学会

開催日：第1回 平成29(2017)年11月5日(日)

第2回 平成30(2018)年12月2日(日)

場所：晴海五丁目市街地再開発事業地区

対象者：晴海地区の在住・在勤者

内容：現場見学ツアーや建設機械の展示・試乗、測量体験、一輪車レース、晴海地区のこれまでの変遷や選手村関連工事の内容が詳しく分かる写真の展示など

来場者数：第1回 約300人

第2回 約430人

### ② 選手村オープンハウス

開催日：平成30(2018)年9月15日(土)

(環状第2号線施設見学会と同時開催。164ページ参照)

場所：中央区晴海五丁目現場事務所

内容：パネル・パンフレットによる選手村予定地の工事状況や大会後のまちづくりの紹介及び東京都職員による説明など

対象者：誰でも参加可

来場者数：3,000人以上



▲選手村オープンハウス入口



▲大会後のまちの模型



▲大会後のまちの模型や資料を見学する参加者



▲大会後のまちのパネル展示

### 3 選手村の運営

大会開催期間における選手村については、東京2020組織委員会が主体となって全面的に運営管理を行った。

#### ア セキュリティ

選手村は競技会場と同様に、進入禁止エリアにフェンスが設置され、セキュリティカメラとセンサーによって24時間体制の監視及び入場時のチェックが実施された。



▲セキュリティフェンス

#### イ 医療

選手村内には総合診療所（ポリクリニック）が設置され、選手村内に居住する選手、役員等に必要な医療サービスを提供した。

また、発熱等の症状がある選手などのための診療・検査施設として、発熱外来も設置し、感染症疑いの患者に対する診療、PCR検査などを実施し、陽性者が発生した際は、感染症対策センターや保健衛生拠点と連携して対応した。

#### ウ 保健衛生支援東京拠点

選手村に滞在する選手等の新型コロナウイルス感染症に関して、東京都、中央区及び東京2020組織委員会が緊密に連携した保健衛生支援東京拠点を設置し、主に東京都職員（11人）が中央区併任職員として運営に従事した。

発生届受理件数：96件

療養・入院先調整件数：96件

主な対応内容：

- 空港検疫やスクリーニング検査で陽性が判明した選手や大会関係者は、東京2020組織委員会が確保した宿泊療養施設での隔離及び医療機関での入院措置を行った。
- 積極的疫学調査については、感染症対策センターが東京2020組織委員会の各所管等を通じてCLO（コロナ対策責任者）や本人に聞き取った情報を基に、濃厚接触者を特定した。
- 特定した濃厚接触者は、東京2020組織委員会が確保した施設や選手村の個室等で隔離した。



## エ 選手村における主な持続可能性の取組

- ① 再生可能エネルギーを100%利用  
福島県内で太陽光発電の電力を再生可能エネルギーとして用いて製造された水素の活用等
- ② 低公害・低燃費車の利用  
燃料電池自動車（FCV）や電気自動車（EV）などの低公害・低燃費車両を導入
- ③ 日本の木材活用リレー  
全国の63自治体から借り受けた木材でビレッジプラザを建設し、大会後には使用された木材をレガシーとして各地で後利用するプロジェクト「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」を行った。  
本区では、東京都から多摩産材の木材を譲り受け、大会レガシーとして区民の記憶の継承に活かしていくため、選手村跡地に整備される晴海特別出張所（仮称）等複合施設、晴海西小学校（仮称）・晴海西中学校（仮称）での活用を図る予定である。  
東京都においても、晴海ふ頭公園及び晴海緑道公園（仮称）にてパーゴラやベンチとして活用を予定している。
- ④ 調達物品及び運営時廃棄物のリユース・リサイクル  
レンタル・リースや物品の再販を行うとともに、大会関係者が連携して物品の後利用を推進した。また、ごみと資源を適切に分別してリサイクルを推進した。
- ⑤ 食材の調達  
選手村等の飲食提供において、GAP 認証品や水産エコラベル認証品など持続可能な食材を使用した。  
※ GAP 認証品:安全性や環境への配慮などを第三者機関が審査し、基準を満たしていることが確認された農産物  
※水産エコラベル認証品:水産資源や生態系にやさしい方法で行われていることが第三者機関により認証された漁業等から生産された水産物や製品

## オ スタッフの通勤対策

東京2020組織委員会は、通勤時間帯の交通混雑緩和のため、勝どき駅から選手村までの大会関係者用ルートを設定し、指定されたルートで通勤するよう周知するとともに、月島駅やその他の公共交通機関の利用も促した。また、大会期間中は立て看板や誘導員を配置するなど、交通ルールや通行マナーの遵守についても周知徹底を図った。

## カ 区民の問合せへの対応

東京2020組織委員会は、大会期間中、大会開催に関する問合せ専用窓口（コールセンター）を設置した。

大会中は、区にも選手村周辺の交通規制や大会関係車両の交通マナー、大会関係者の行動などについて区民などから多くの意見が寄せられた。区ではその都度、東京2020組織委員会に情報を共有し、是正を求めるなどの対応を行った。

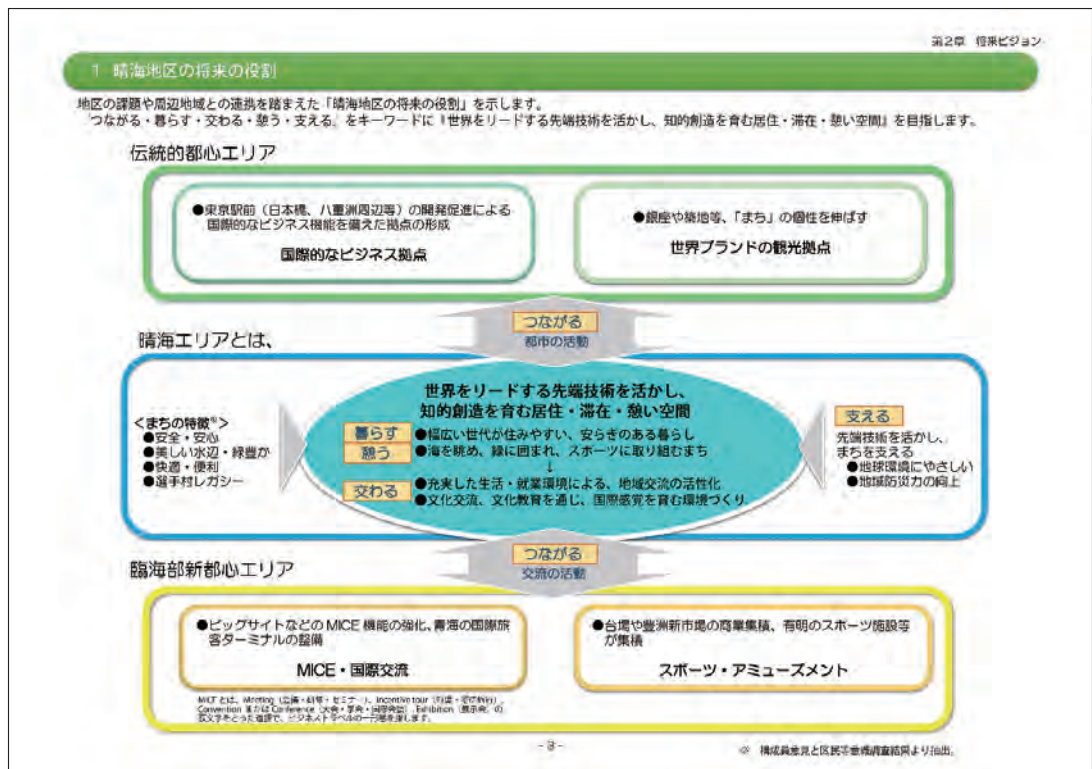
## 4 選手村整備・運営に関する本区の取組

### ア 晴海地区将来ビジョンの推進

晴海地区に選手村が整備されることを契機に、大会後の魅力あるまちづくりにつなげていくことを目的として、地元組織である晴海連合町会及び晴海をよくする会からの推薦者と晴海地区の区民からの公募者で組織する「晴海地区将来ビジョン検討委員会」（構成員22人 ※行政構成員を除く。）を平成26（2014）年2月に設立し、同年12月に「晴海地区将来ビジョン」を策定した。

また、今後の晴海地区のまちづくりが晴海地区将来ビジョンを踏まえたものとなるよう、平成27（2015）年4月に晴海地区まちづくり協議会の分科会として「晴海地区将来ビジョン推進会議」を設置し、適時適切な情報共有や地域全体として取り組むべき方向性についての意見交換など、良好なまちづくりの実現に向けて取り組んできた。なお、当会議は、選手村跡地の開発計画の協議や大会に向けたおもてなし活動など、一定の役割を果たしたことから、令和2（2020）年3月に終了している。

### 晴海地区将来ビジョンの概要



2 晴海地区における取組の方向性

「晴海地区の将来の役割」を踏まえ、晴海地区のまちづくりを「つながる・暮らす・交わる・憩う・支える」のキーワード毎に整理し、取組の方向性を示します。

世界をリードする先端技術を活かし、知的創造を育む居住・滞在・憩い空間

**つながる**  
(周辺地域をつなぐ広域交通と人をつなぐ文化交流)

**○広域交通**

- ・BRT(晴海~橋本~船橋)の整備
- ・地下鉄有明線延伸の導入
- ・水バス路線

**○文化交流**

- ・高設のホール(トリトン第一生命ホール)、今後の誘致を目的とする文化施設、オリンピックレガシーを活用した、文化交流(スポーツ・健康・演劇など)の実施

**暮らす**  
(ウォーターフロントを活かした居住エリア)

**○住まい**

- ・持続的に多様な人口・幅広い世代が住まう街を目指し、分譲住宅に加え、賃貸住宅、学生寮、社宅、SOHO、宿泊施設、サービス付高齢者住宅など、多様な住まいの供給

**○地域コミュニティ**

- ・強固に暮らす市民、学生、社会人が防災などをテーマに地域貢献活動ができるような広域や地域集会所を適切に誘導

**交わる**  
(商業の中心軸)

**○公共・公益施設、生活利便施設、医療・福祉施設**

- ・生活利便性の確保を目的として、行政サービス拠点などを適切に配置し、業務・商業施設をはじめ、中規模なショッピングセンターや密着型店舗、入浴可能な美容施設、教育施設、複合施設、金融機関各店舗

**○文化教育**

- ・空間に若い世代が滞在する街を目指し、創発的ビジネス、入居者を誘致

**憩う**  
(親水性のある公園・緑地エリア)

**○みどり・オープンスペース**

- ・晴海の中心軸や水辺は、公園・緑地と歩行者のプロムナードとして整備
- ・省エネ建物と繋がるビオトープ等の整備
- ・在野気象による一帯に開かれた広域の監視
- ・ユニバーサルデザイン・バリアフリー、災害への配慮

**○スポーツ・健康**

- ・親子対象施設を活用したスポーツ活動、健康増進
- ・歩行者プロムナード等を活かしたジョギングコースの設定

**支える**  
(最先端技術の活用)

**○環境**

- ・中央清掃工場の浮遊塵など未処理エネルギーや太陽光の再生可能エネルギーの活用促進
- ・環境に優しい地域交通の導入検討(スマートモビリティ、水素ステーション、燃料電池バスなど)
- ・エリアエネルギーマネジメントシステムの導入促進
- ・省エネの見える化など環境意識向上に向けた取組

**○防災**

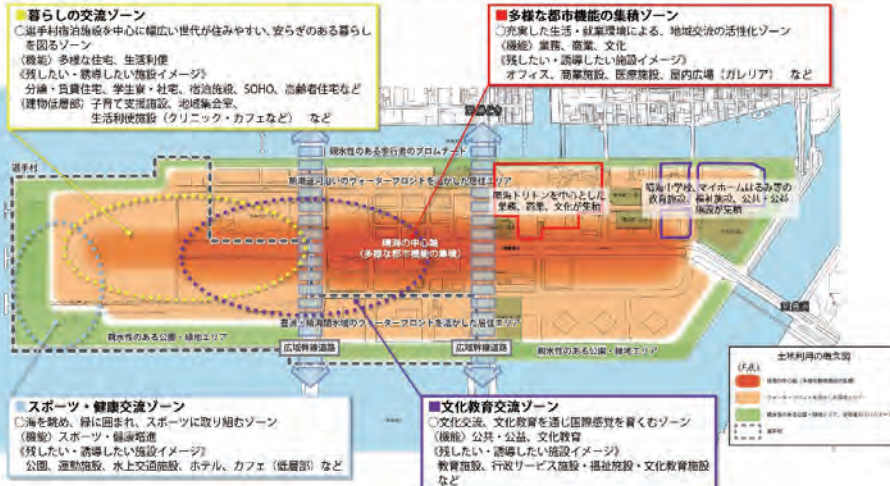
- ・防災拠点の進化(耐震する小中学校等)
- ・避難経路を確保するための防災ルートづくり
- ・民間関係機関との連携による災害時の迅速な対応
- ・災害時の避難・インフラの強化
- ・併設施設への対応
- ・スマートシティ機能の導入(高層マンション住居の省エネ環境、納期遅延対策等)

3 晴海地区の土地利用の考え方

晴海地区における取組を実現するため、晴海地区の特徴を踏まえた土地利用の考え方を示します。

■晴海地区の骨格となる都市構造

- 地区中央の東西の幹線道路沿いは、建物低層部を中心に商業、文化交流、文化教育、医療施設などが集積するエリアとする。(晴海の中心軸、賑わいのあるエリア)
- 中心軸の周辺は、住宅等を中心とした居住エリアとする。(静けさのあるエリア)
- 水辺は、公園・緑地エリアと歩行者のプロムナード(散策路)とする。(海を感じるエリア)



- ① 晴海地区将来ビジョン検討委員会開催実績
- 平成25(2013)年度 3回
  - 平成26(2014)年度 7回

② 晴海地区将来ビジョン推進会議開催実績

- 平成27(2015)年度 7回
- 平成28(2016)年度 5回
- 平成29(2017)年度 6回
- 平成30(2018)年度 5回
- 令和元(2019)年度 3回

イ 晴海コミュニティ構想検討会議

これまで晴海地区において築かれてきたコミュニティと、新たに選手村跡地の住宅地に形成されるコミュニティとが自発的かつ持続的に協働し、晴海地区全体の「良好な住環境の形成」、「資産価値の向上」等に寄与する持続可能な発展型まちづくりの実現により、晴海版プロアクティブ・コミュニティを将来的に確立していくことを目指して「晴海コミュニティ構想検討会議」を令和2(2020)年9月に設置し、令和6(2024)年4月に予定されている選手村跡地開発のまちびらきに向け検討を行っている。

ウ 東京都及び東京2020組織委員会への要望書

区では、東京2020大会開催決定後、選手村整備や交通・セキュリティ計画などの大会運営に伴う区民生活への影響、大会後の選手村跡地のまちづくりなど、喫緊に整理・解決に取り組むべき重要事項について、東京都知事、または東京都知事及び東京2020組織委員会会長宛てに要望書を提出した。

また、緊急事態宣言下での東京2020大会開催に当たり、感染症対策の徹底及び交通環境の改善について、東京2020組織委員会事務総長宛てに要望書を提出した。

要望書一覧

提出年月日	件名
平成25(2013)年9月11日	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施に伴う施設建設等に関する要望について
平成26(2014)年3月14日	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施に伴う本区への影響等に関する要望について
平成27(2015)年3月10日	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会選手村整備に伴う本区への影響等に関する要望について
平成28(2016)年6月30日	市場移転及び環状第2号線の供用開始に伴う区内交通への影響等にかかる要望について
平成28(2016)年7月13日	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村整備に伴う本区への影響等に関する要望について
平成28(2016)年12月20日	環状第2号線の一部暫定開通に関する要望について
平成29(2017)年9月29日	市場移転及び東京2020大会にかかる要望について
平成30(2018)年3月15日	「築地まちづくり方針(素案)」に関する要望について
平成30(2018)年4月19日	築地市場移転後のまちづくりに関する要望について
令和元(2019)年7月31日	東京2020大会時の交通に関する要望について
令和3(2021)年7月21日	安全な東京2020大会の実現に向けた要望について

